

在宅介護実態調査 集計結果

2026/05/11

山口県防府市

◆ 4つの検討テーマ

■ 在宅介護実態調査は、主に以下の4つの検討テーマに基づいた集計分析を行っています。

【要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続】

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討します。
介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「介護者の就労状況」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討します。

【支援・サービスの提供体制の検討】

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	○ 主に「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討します。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討します。

◆用語の定義

【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

用語	定義
訪問系	・訪問介護・訪問型サービス、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系	・通所介護・通所型サービス、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系	・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
訪問系のみ	・上表の「訪問系」の利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系」+「通所系」、「訪問系」+「短期系」、「訪問系」+「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

【施設等の検討の状況に係る用語の定義】

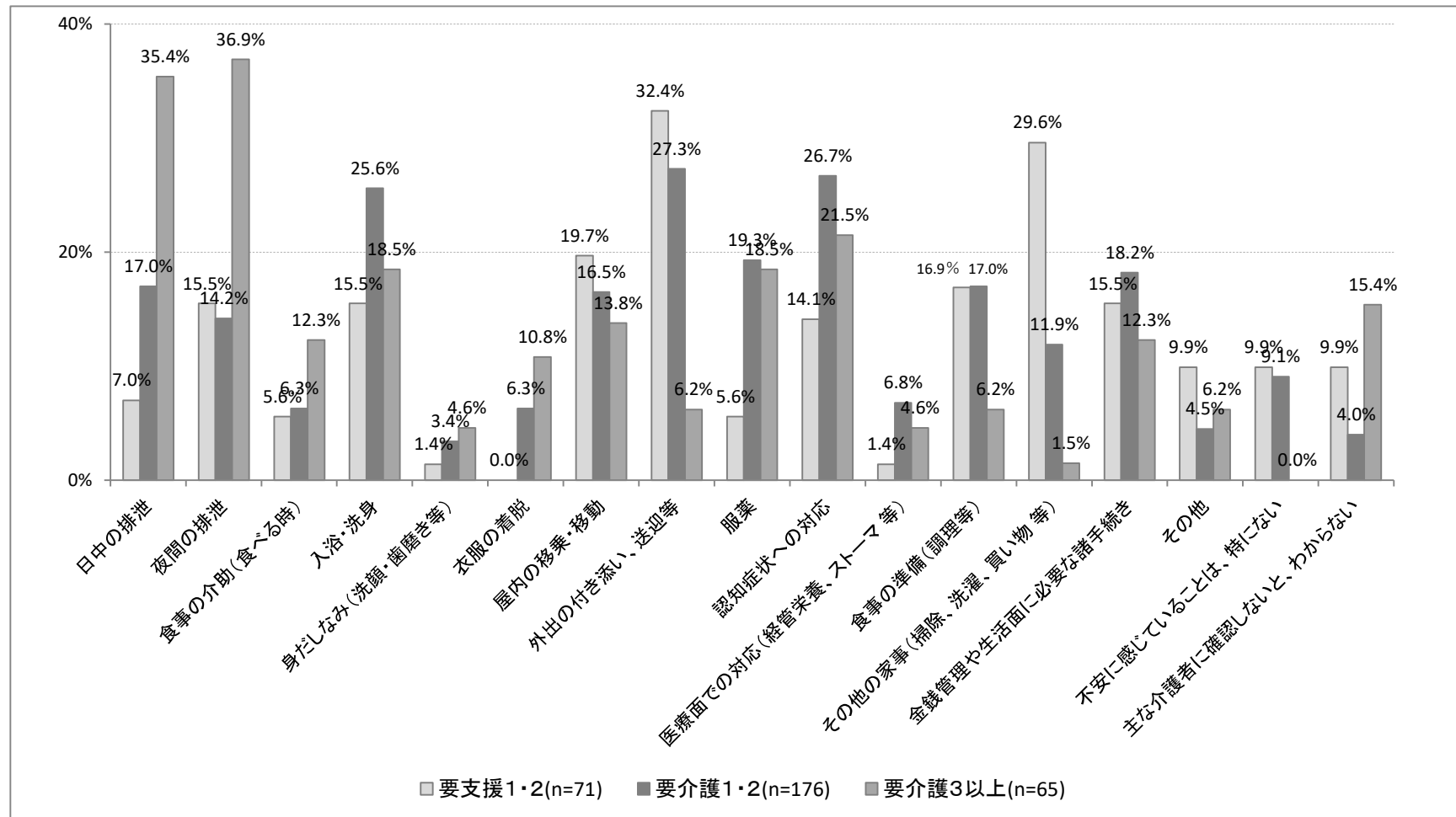
- 本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない（検討していない）」、「入所・入居を検討している（検討中）」、「すでに入所・入居申し込みをしている（申請済み）」の3つに分類して集計しています。
- なお、ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、介護保険施設には限定していません。

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

要介護度別・介護者が不安を感じる介護

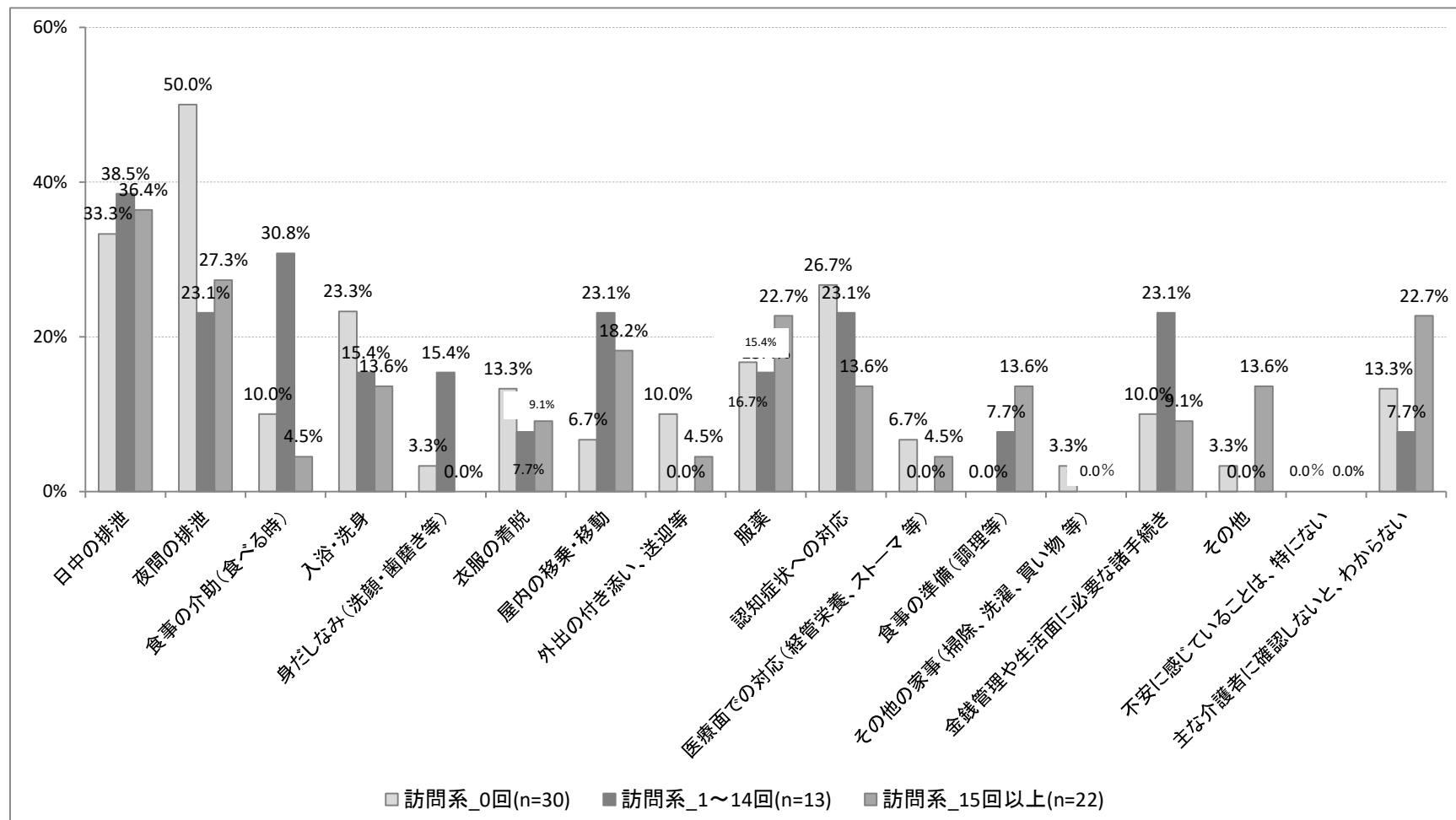
図表 要介護度別・介護者が不安を感じる介護



検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

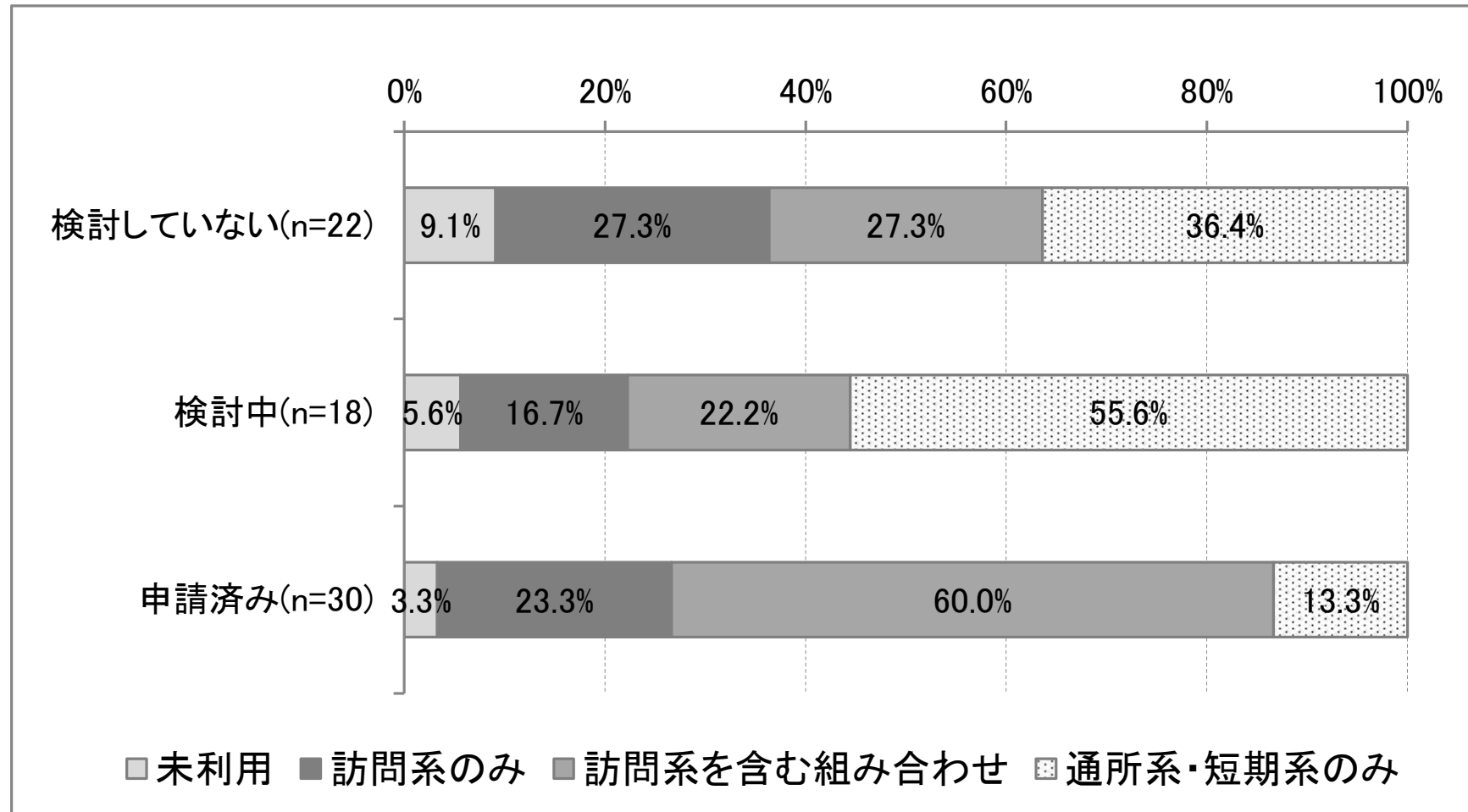
図表 サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

サービスの利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

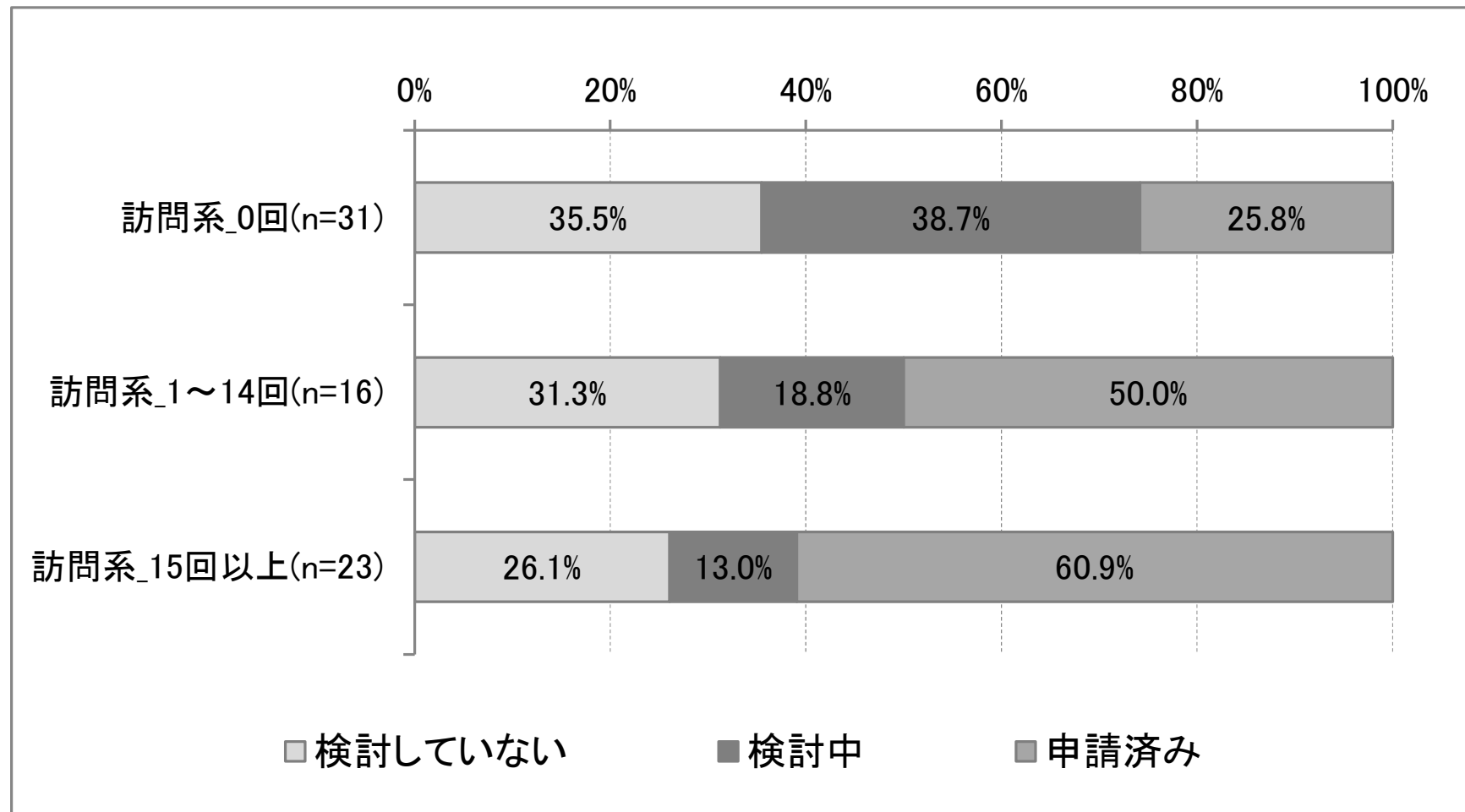
図表 サービスの利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



検討テーマ1：在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制の検討

施設等検討の状況と訪問系サービスの利用回数（要介護3以上）

図表 施設等検討の状況と訪問系サービスの利用回数（要介護3以上）

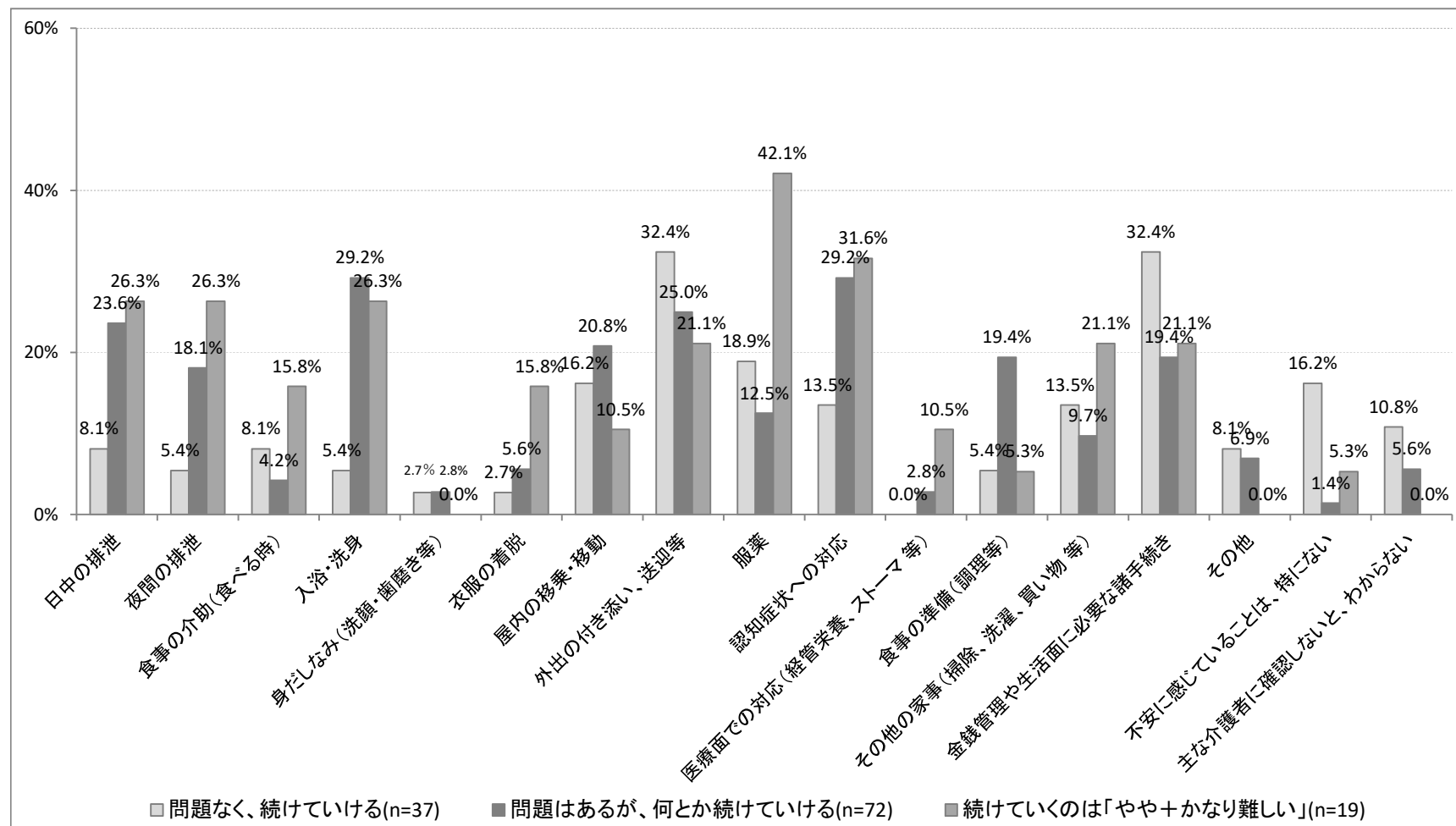


2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

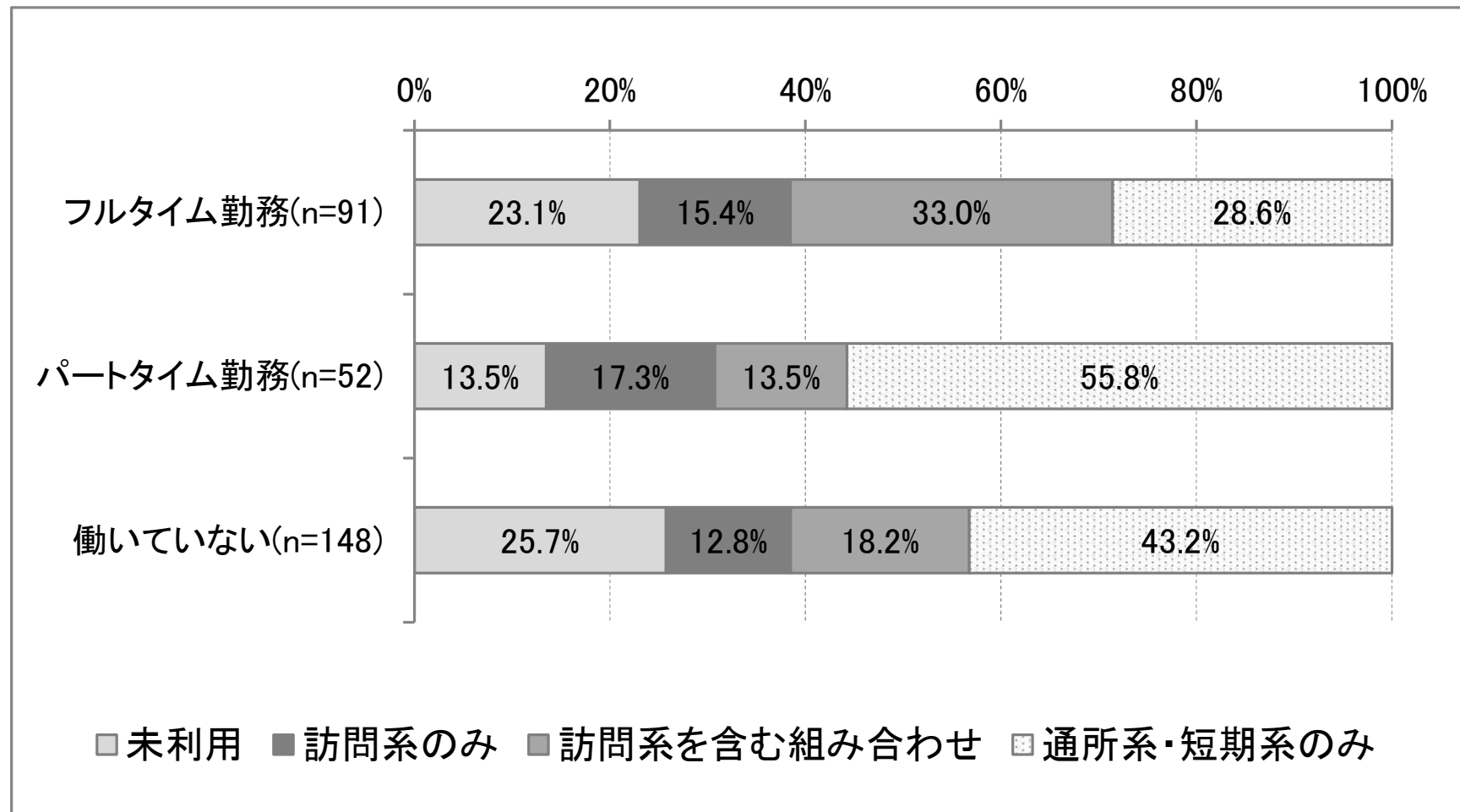
図表 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

就労状況別・サービス利用の組み合わせ

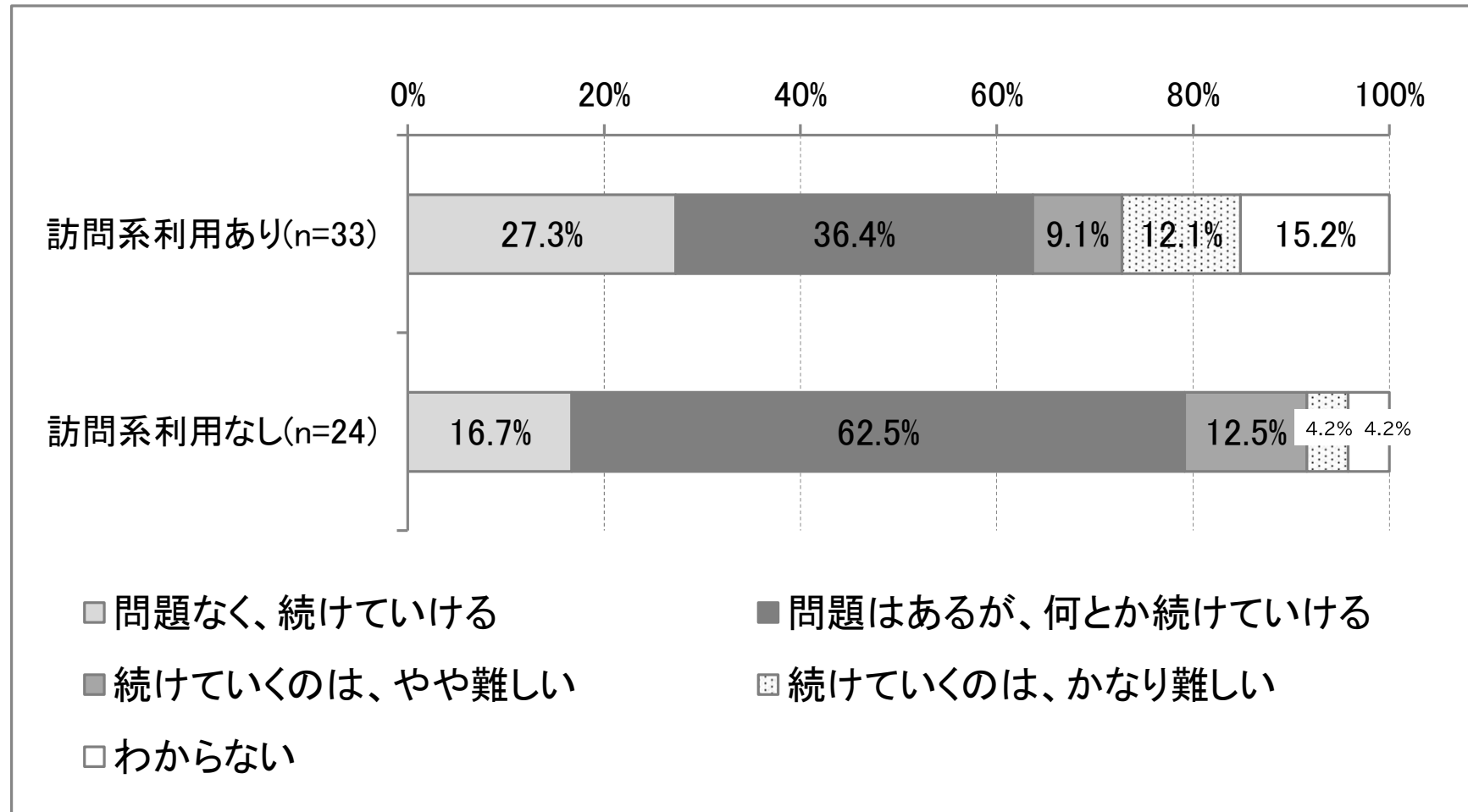
図表 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討

サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

図表 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

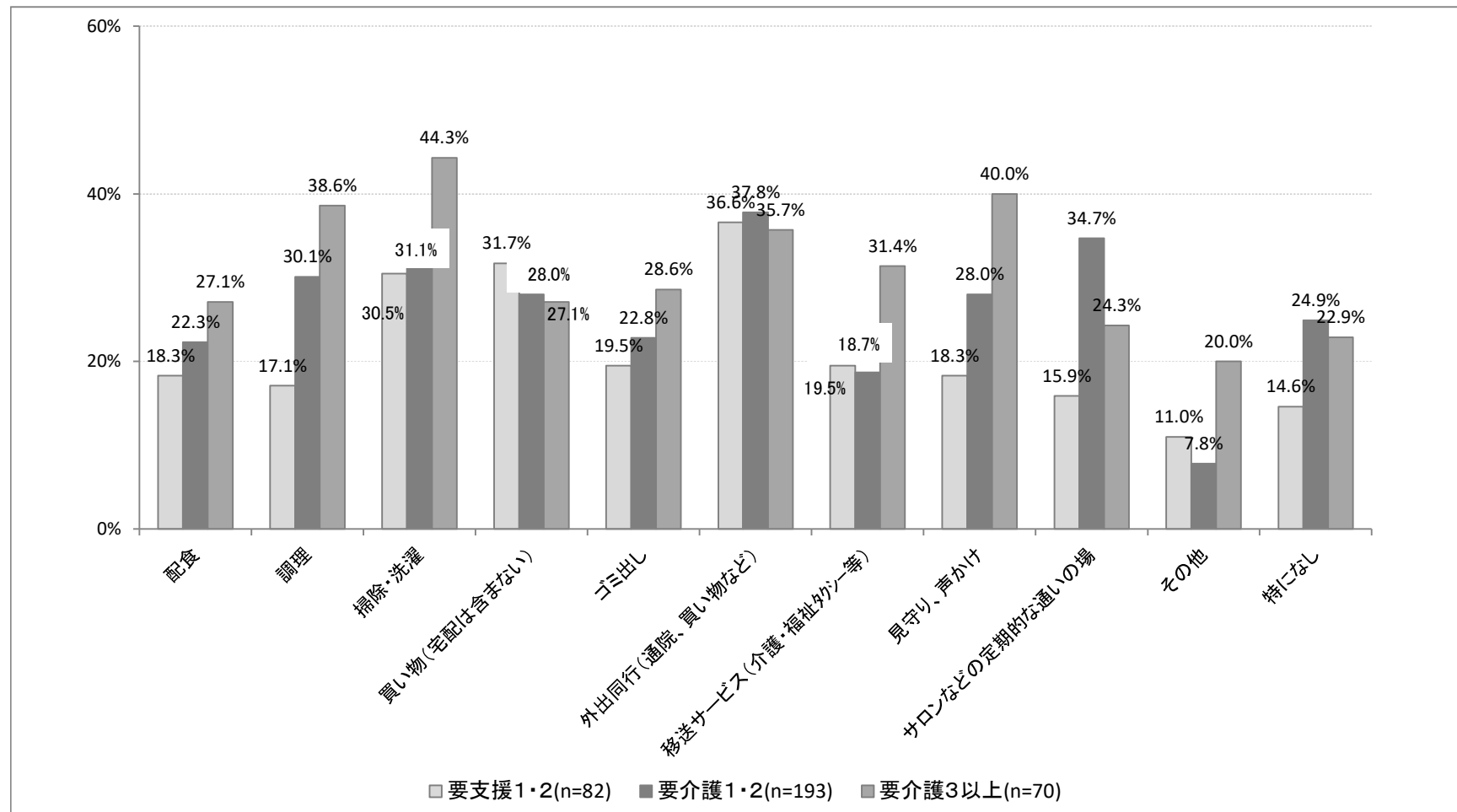


3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

検討テーマ3：保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

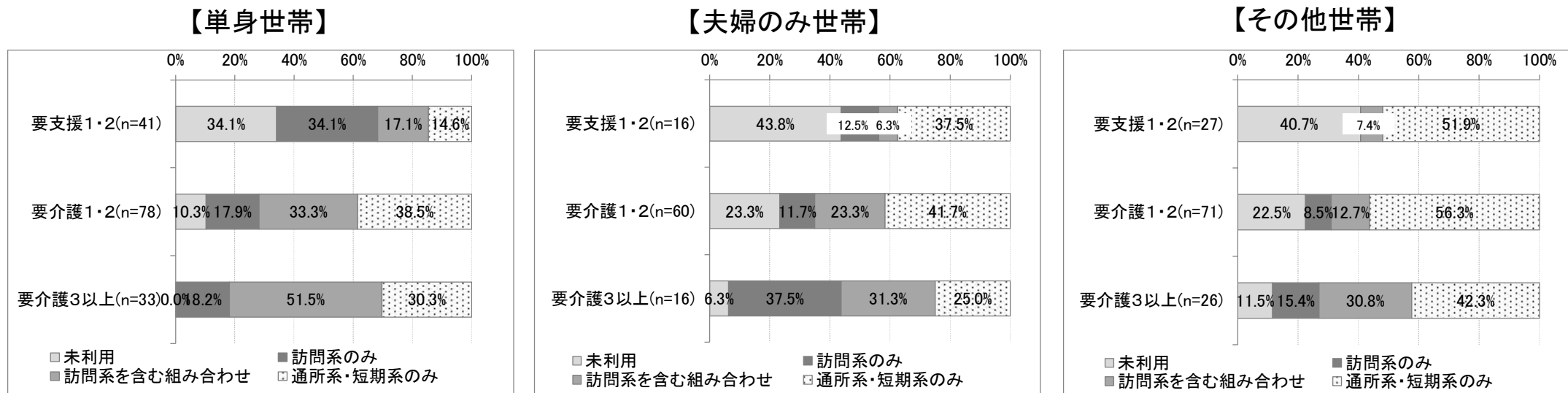


4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ4：将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

要介護度別・サービス利用の組み合わせ（世帯類型別）

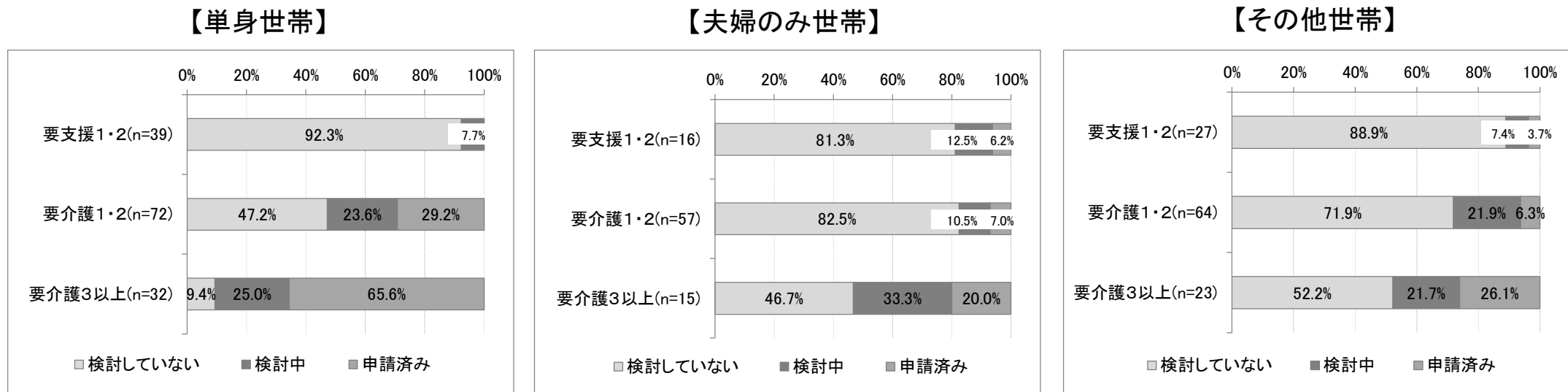
図表 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（世帯類型別）



検討テーマ4：将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

要介護度別・施設等検討の状況（世帯類型別）

図表 要介護度別・施設等検討の状況（世帯類型別）



在宅生活改善調査 集計結果

2026/06/01
山口県防府市

発送事業所数：55件

回収事業所数：38件

回収率：69.1%

【在宅生活改善調査】

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、「過去1年間」の、①自宅等から居場所を変更した利用者の行先別人数や②自宅等において死亡した利用者の人数、また、現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数や②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。

調査の概要

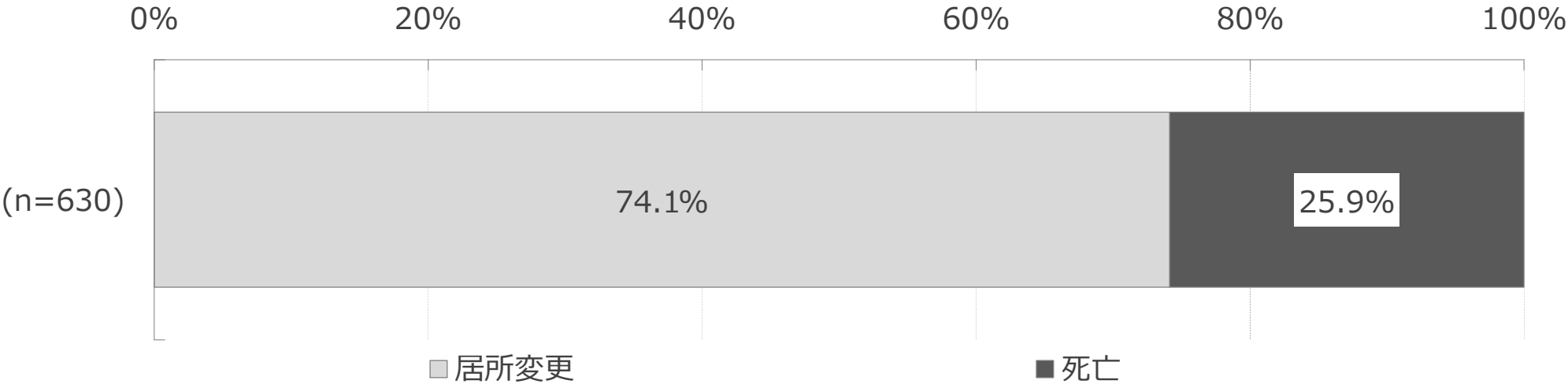
- ・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

過去1年間の実績

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



防府市全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数



粗推計	回答実数
-----	------

694人

467人

防府市全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数



242人

163人

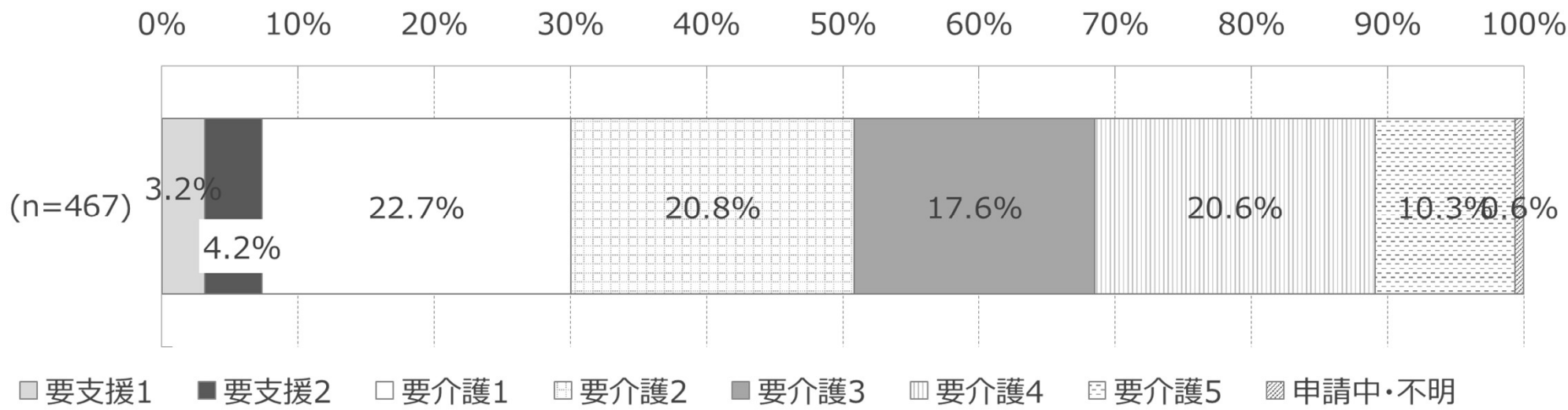
(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	7人	2人	9人
	1.5%	0.4%	1.9%
住宅型有料老人ホーム	132人	34人	166人
	28.3%	7.3%	35.5%
軽費老人ホーム	7人	4人	11人
	1.5%	0.9%	2.4%
サービス付き高齢者向け住宅	25人	6人	31人
	5.4%	1.3%	6.6%
グループホーム	19人	2人	21人
	4.1%	0.4%	4.5%
特定施設	1人	1人	2人
	0.2%	0.2%	0.4%
地域密着型特定施設	2人	0人	2人
	0.4%	0.0%	0.4%
介護老人保健施設	44人	1人	45人
	9.4%	0.2%	9.6%
介護医療院	10人	2人	12人
	2.1%	0.4%	2.6%
特別養護老人ホーム	47人	2人	49人
	10.1%	0.4%	10.5%
地域密着型特別養護老人ホーム	7人	2人	9人
	1.5%	0.4%	1.9%
病院・診療所	98人	3人	101人
	21.0%	0.6%	21.6%
その他	7人	1人	8人
	1.5%	0.2%	1.7%
行先を把握していない			1人
			0.2%
合計	406人	60人	467人
	86.9%	12.8%	100.0%

(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
(注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

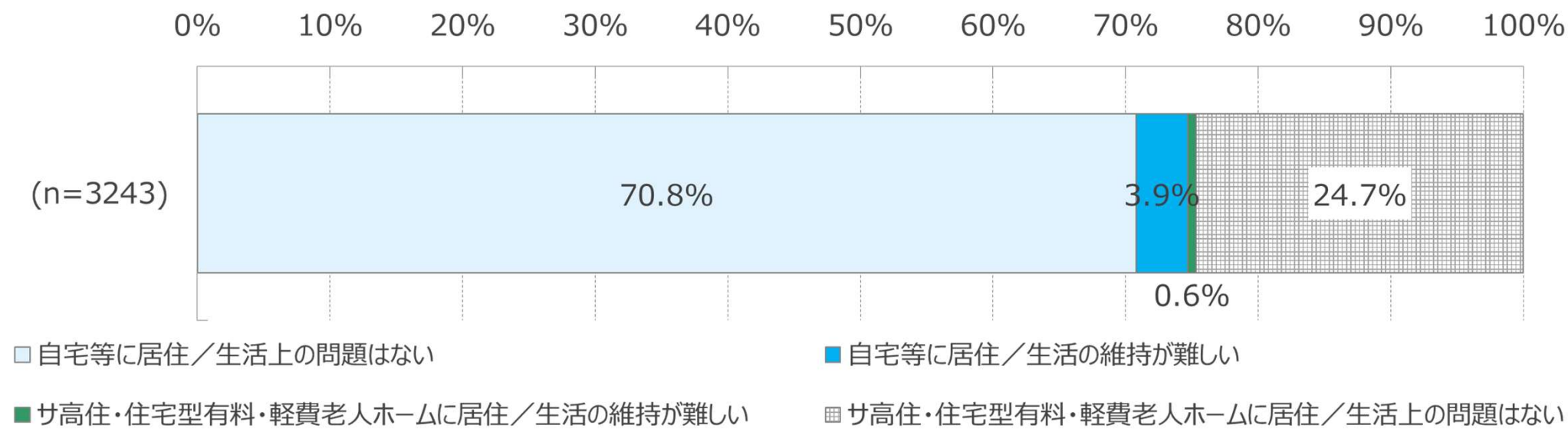
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



(注) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

現在の利用者の状況

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

防府市全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数



合計
(要介護2以下)
(要介護3以上)

4.5%	
粗推計	回答実数
219人	147人
141人	95人
77人	52人

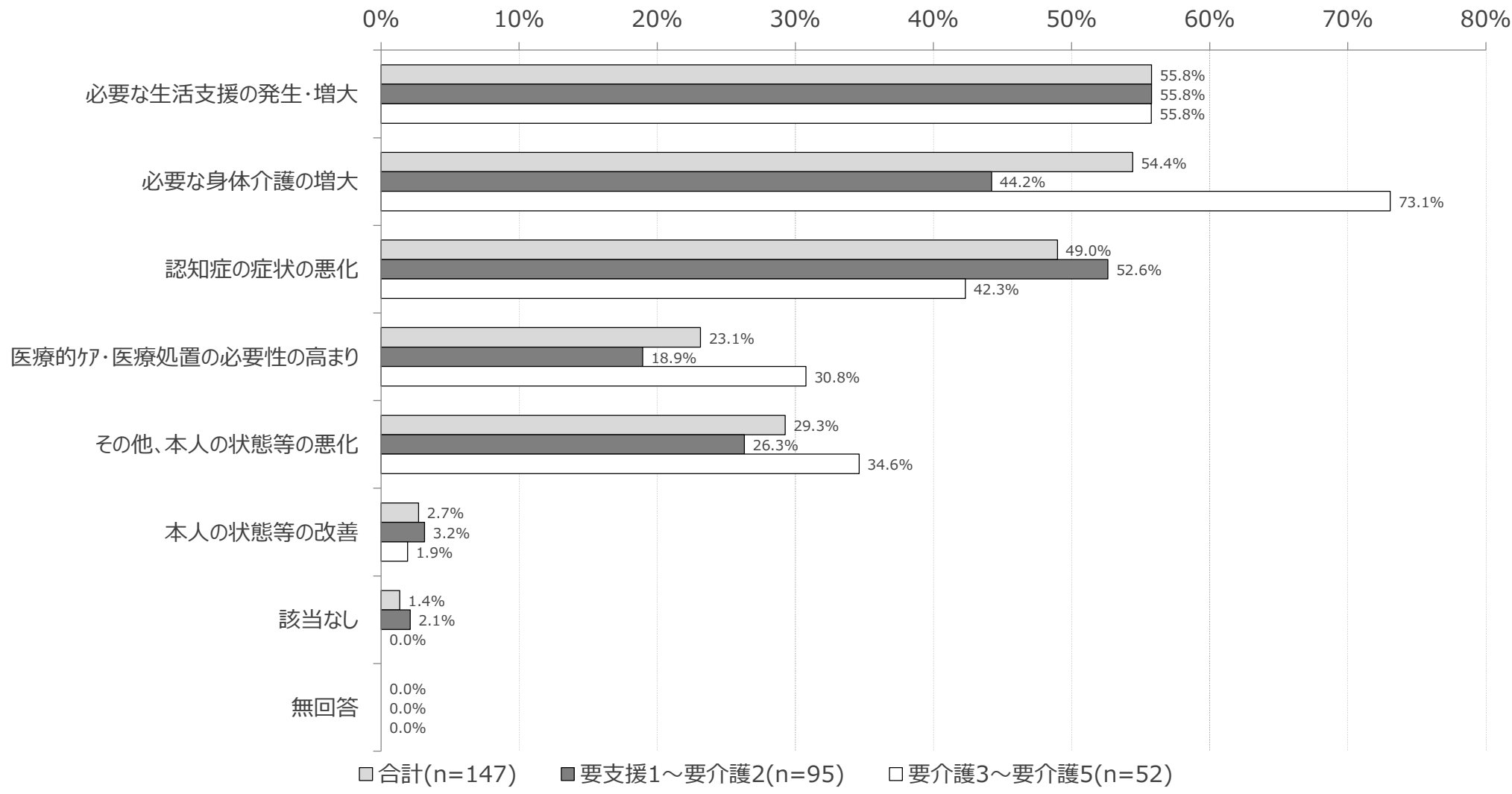
(注)「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位（上位10類型）	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等（持ち家）	自宅等（借家）	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	28人	42人	19.0%	★				★			★	
2	25人	37人	17.0%		★			★			★	
3	15人	22人	10.2%	★				★				★
4	14人	21人	9.5%	★					★		★	
5	9人	13人	6.1%		★			★				★
5	9人	13人	6.1%	★						★		★
7	8人	12人	5.4%				★	★			★	
7	8人	12人	5.4%			★		★			★	
7	8人	12人	5.4%	★						★	★	
10	7人	10人	4.8%				★	★				★
上記以外	16人	25人	10.9%									
合計	147人	219人	100.0%									

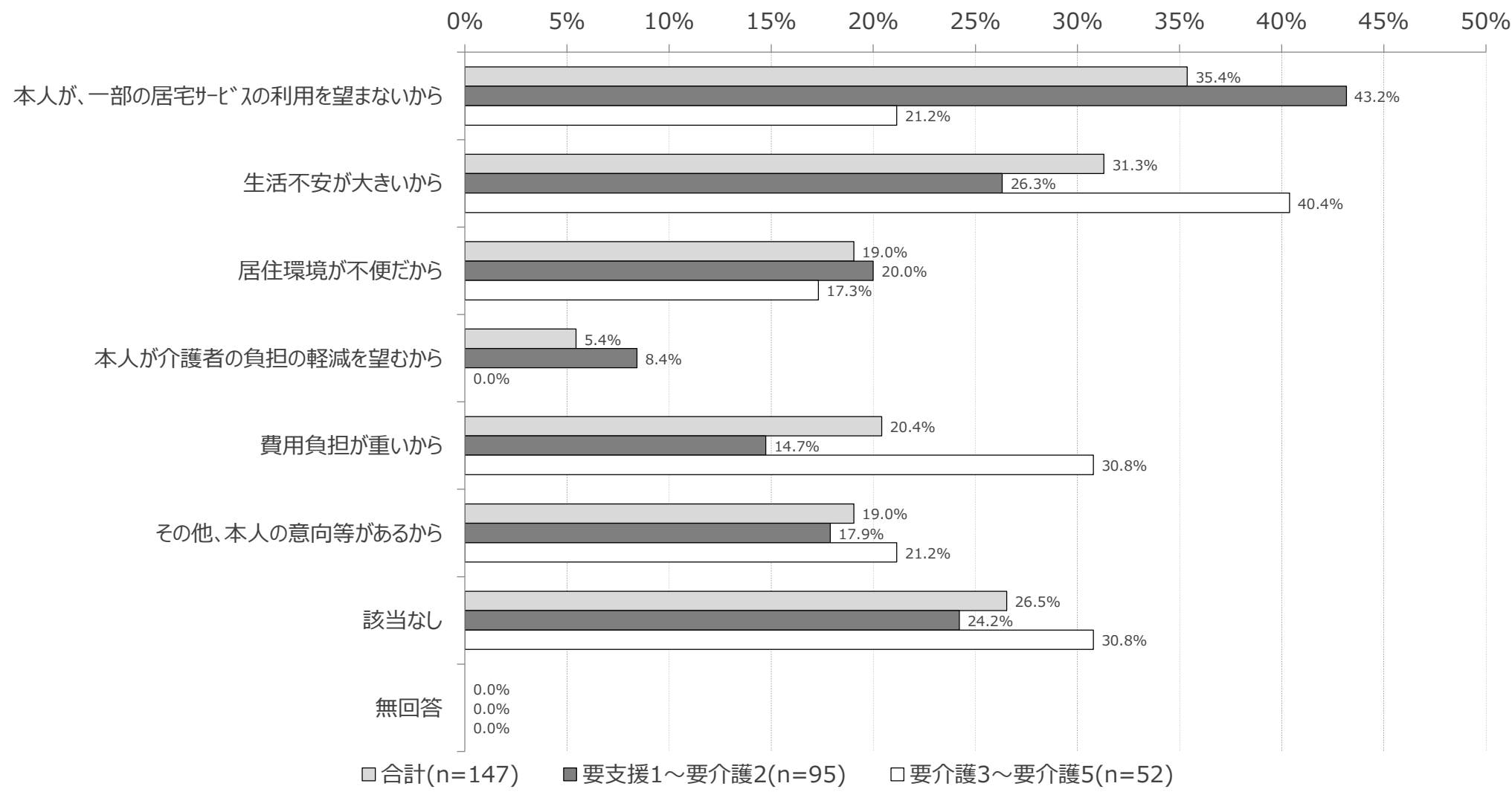
（注）「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の状態に属する理由、複数回答)



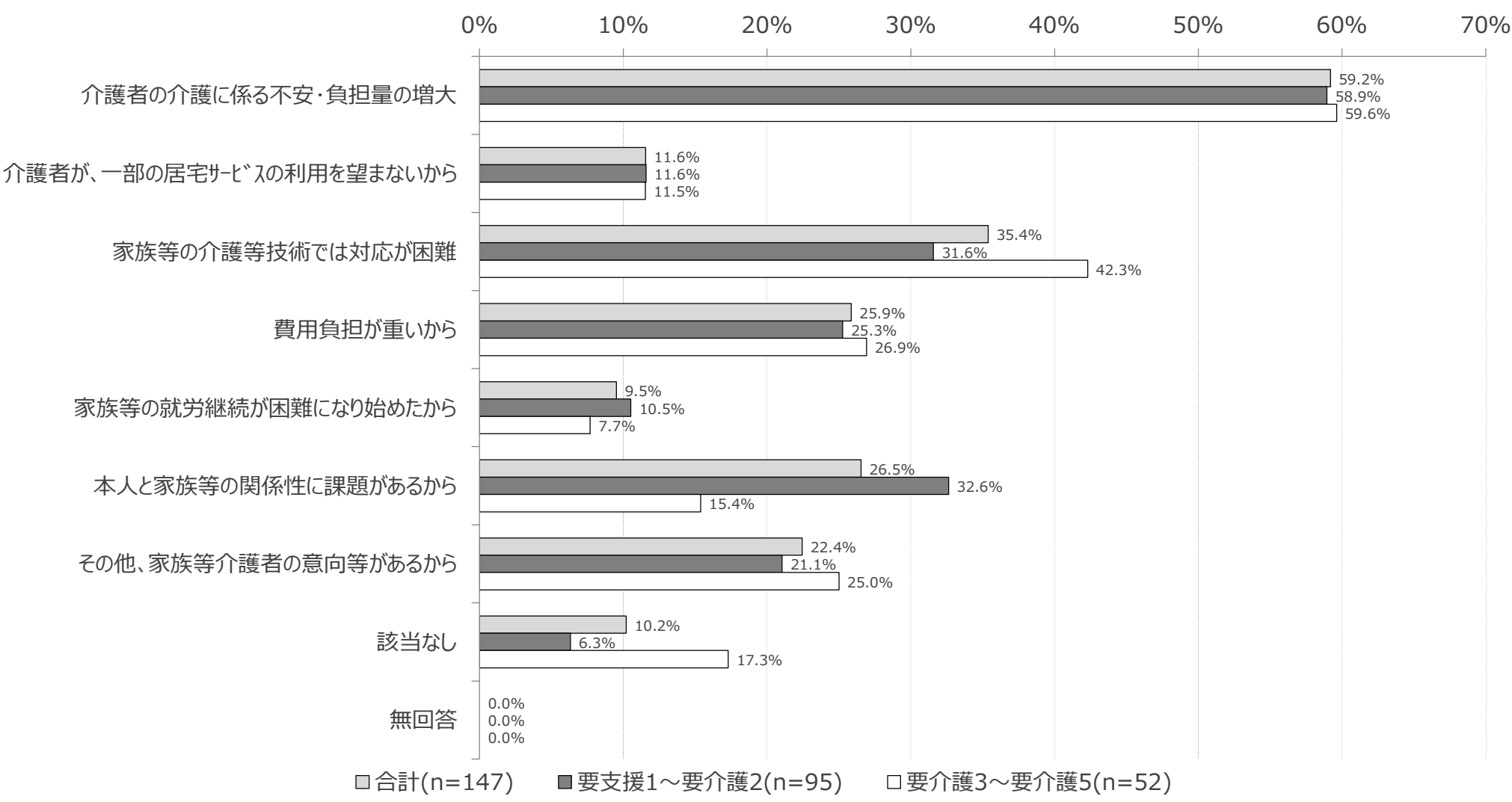
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (本人の意向に属する理由、複数回答)



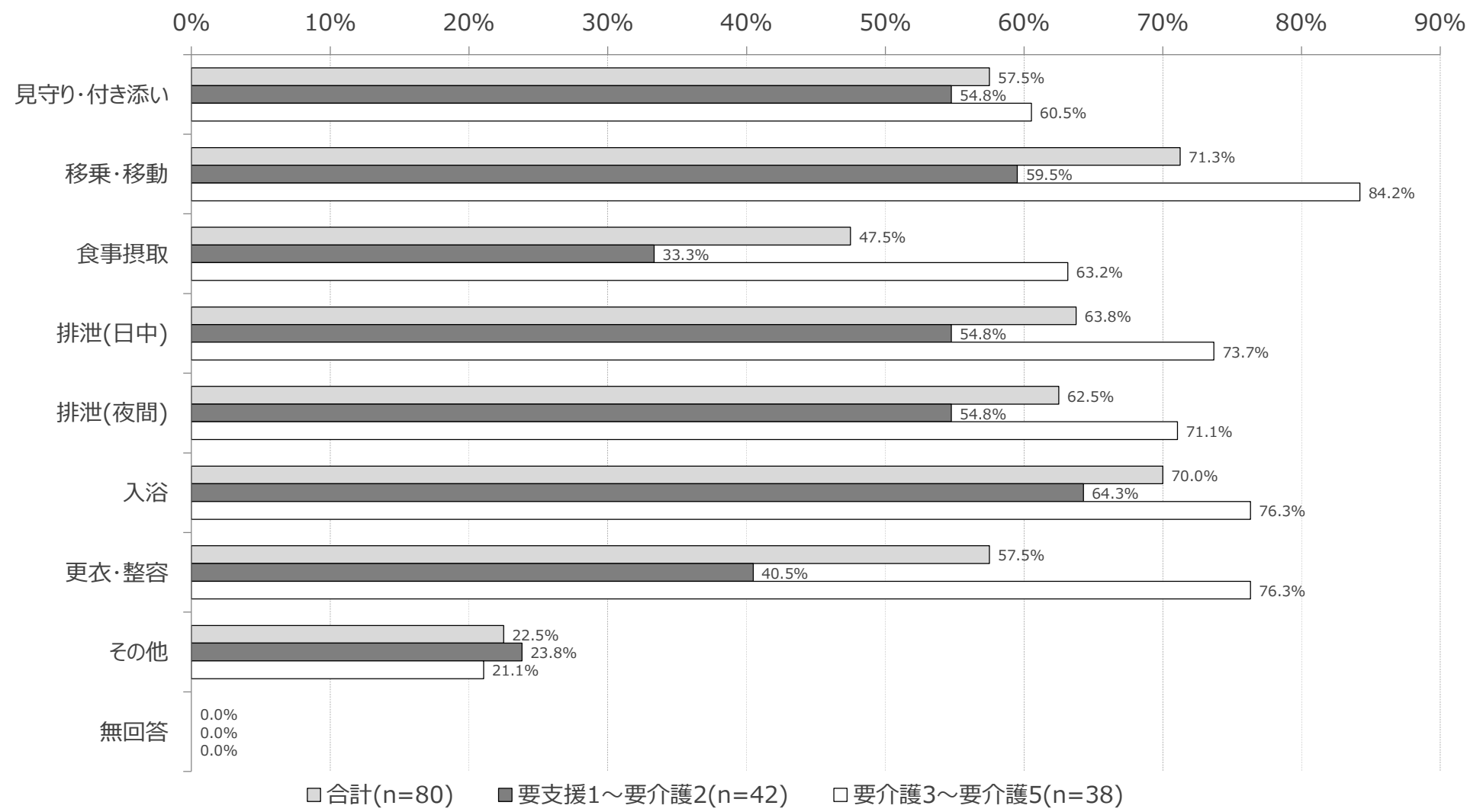
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



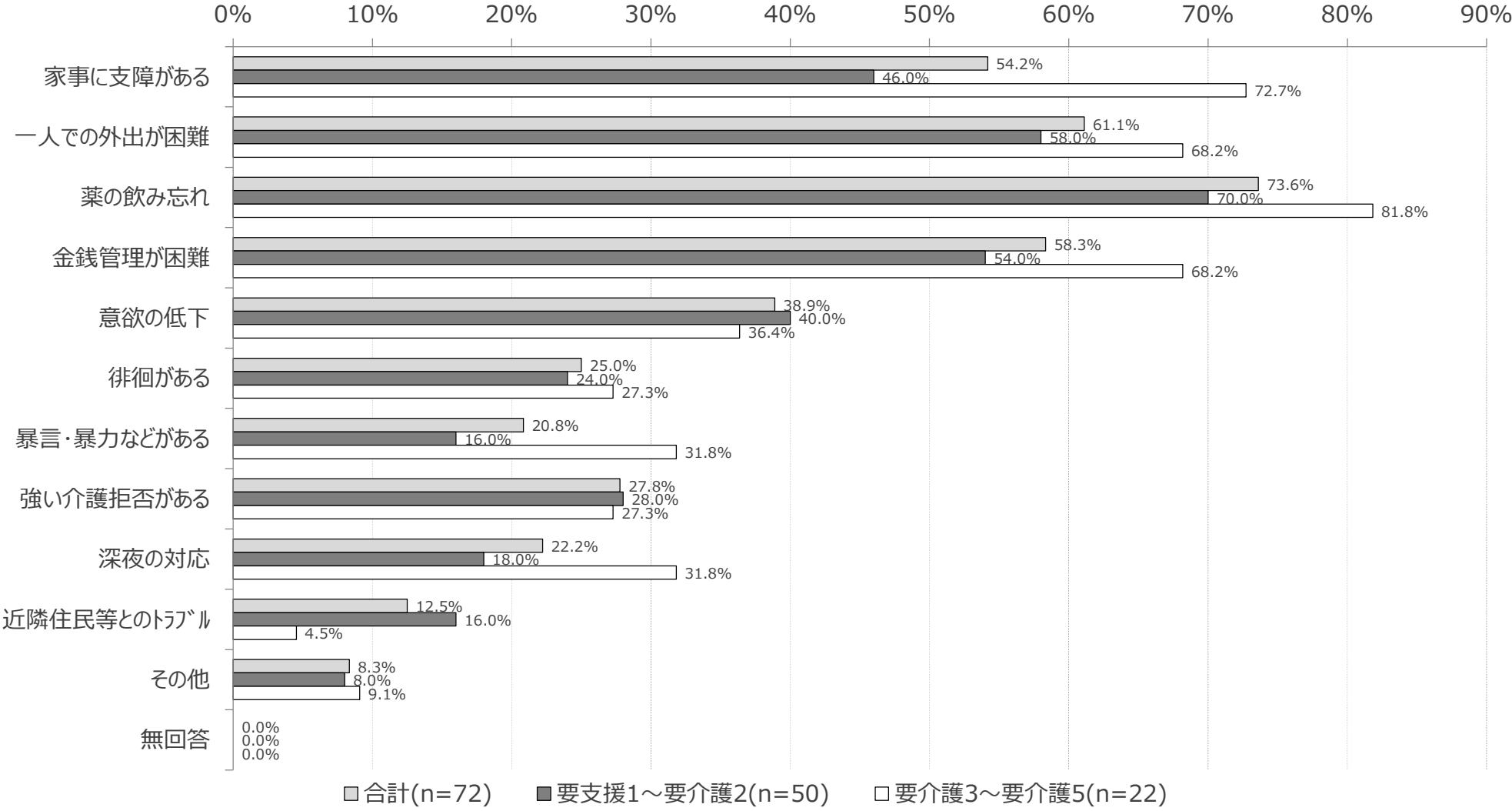
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



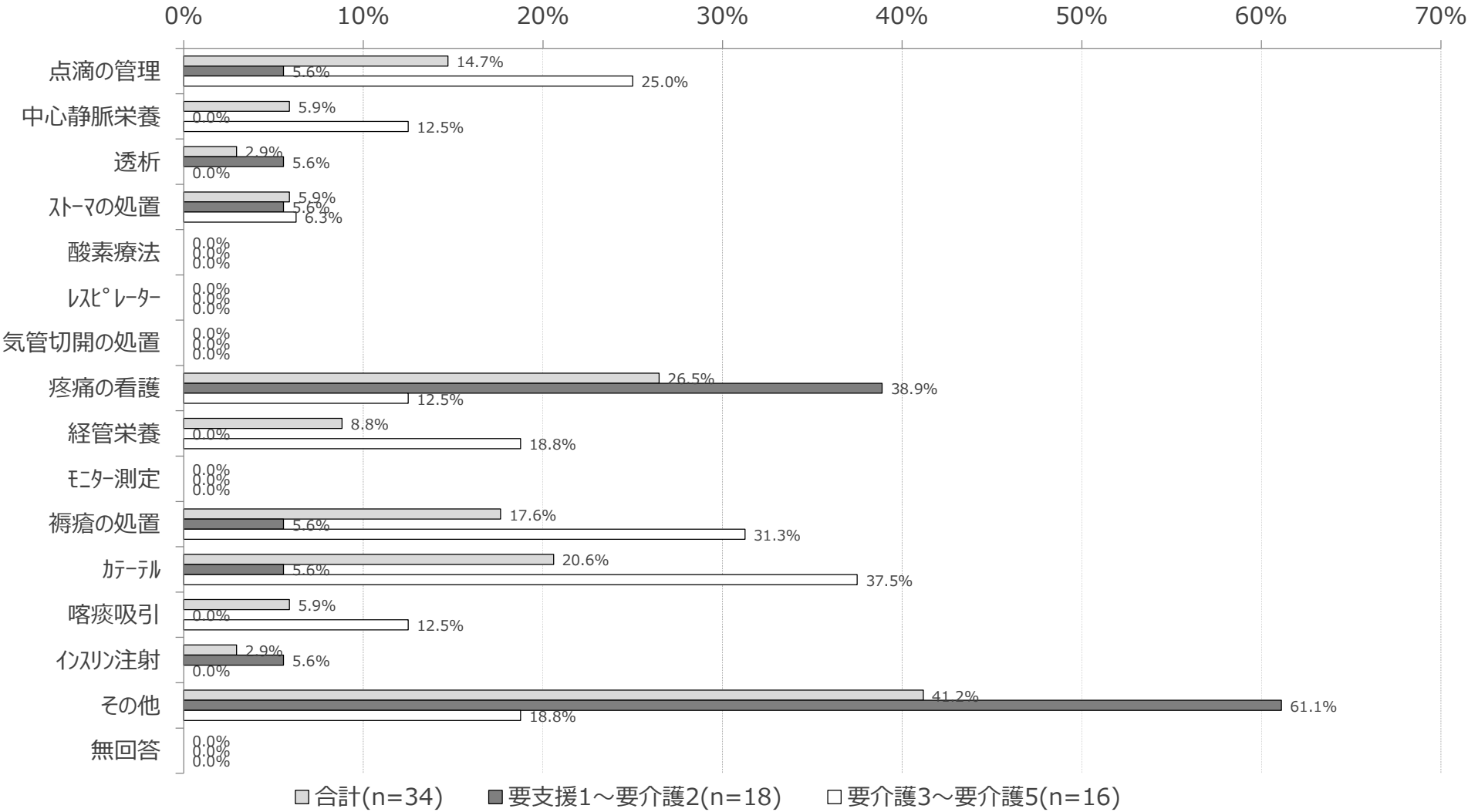
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



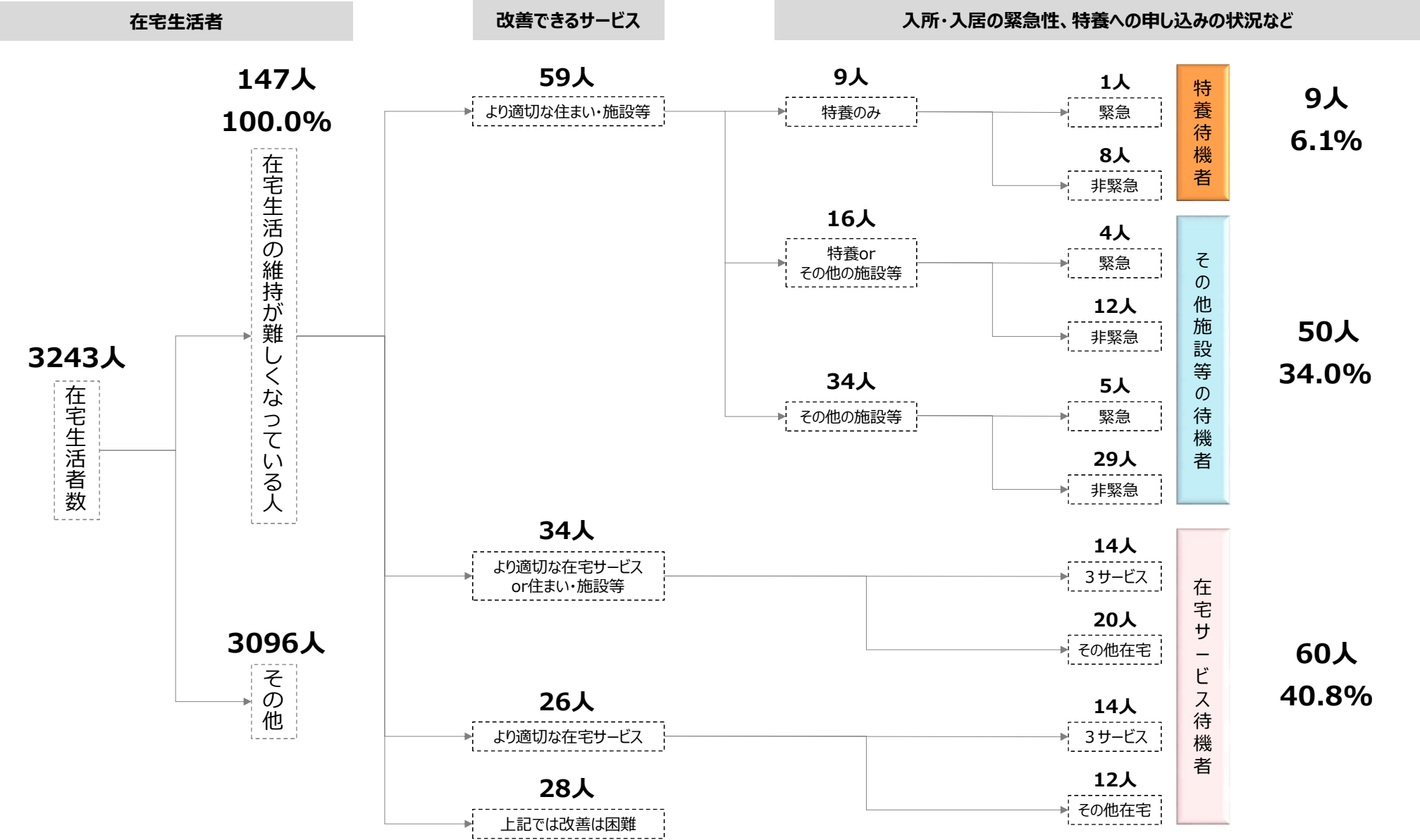
(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計147人のうち、上記の分類が可能な147人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（％）は、147人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

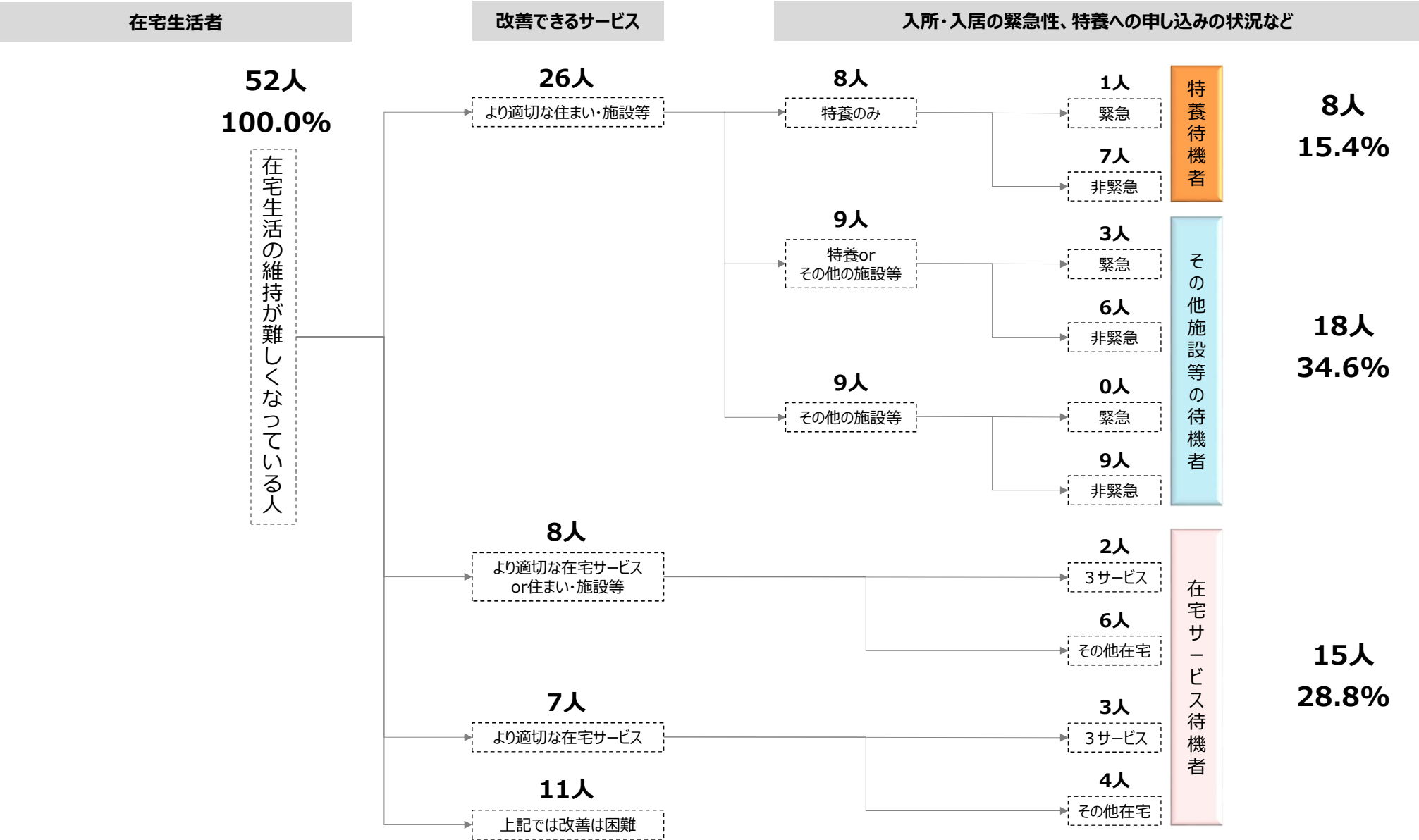
「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の
生活の改善に必要なサービス（複数回答）

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(50人)			在宅サービス待機者(60人)		
住まい・施設等	住宅型有料	27人	54.0%	住宅型有料	13人	21.7%
	サ高住	14人	28.0%	サ高住	7人	11.7%
	軽費老人ホーム	4人	8.0%	軽費老人ホーム	8人	13.3%
	グループホーム	16人	32.0%	グループホーム	8人	13.3%
	特定施設	3人	6.0%	特定施設	4人	6.7%
	介護老人保健施設	7人	14.0%	介護老人保健施設	1人	1.7%
	介護医療院	5人	10.0%	介護医療院	3人	5.0%
	特別養護老人ホーム	16人	32.0%	特別養護老人ホーム	9人	15.0%
在宅サービス	—			ショートステイ	21人	35.0%
				訪問介護、訪問入浴	13人	21.7%
				夜間対応型訪問介護	3人	5.0%
				訪問看護	10人	16.7%
				訪問リハ	8人	13.3%
				通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	19人	31.7%
				定期巡回サービス	14人	23.3%
				小規模多機能	16人	26.7%
				看護小規模多機能	4人	6.7%
				訪問診療	4人	6.7%
				居宅療養管理指導	2人	3.3%

生活の改善に向けて、
代替が可能

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者50人、在宅サービス待機者60人を分母として算出したものです。
(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）



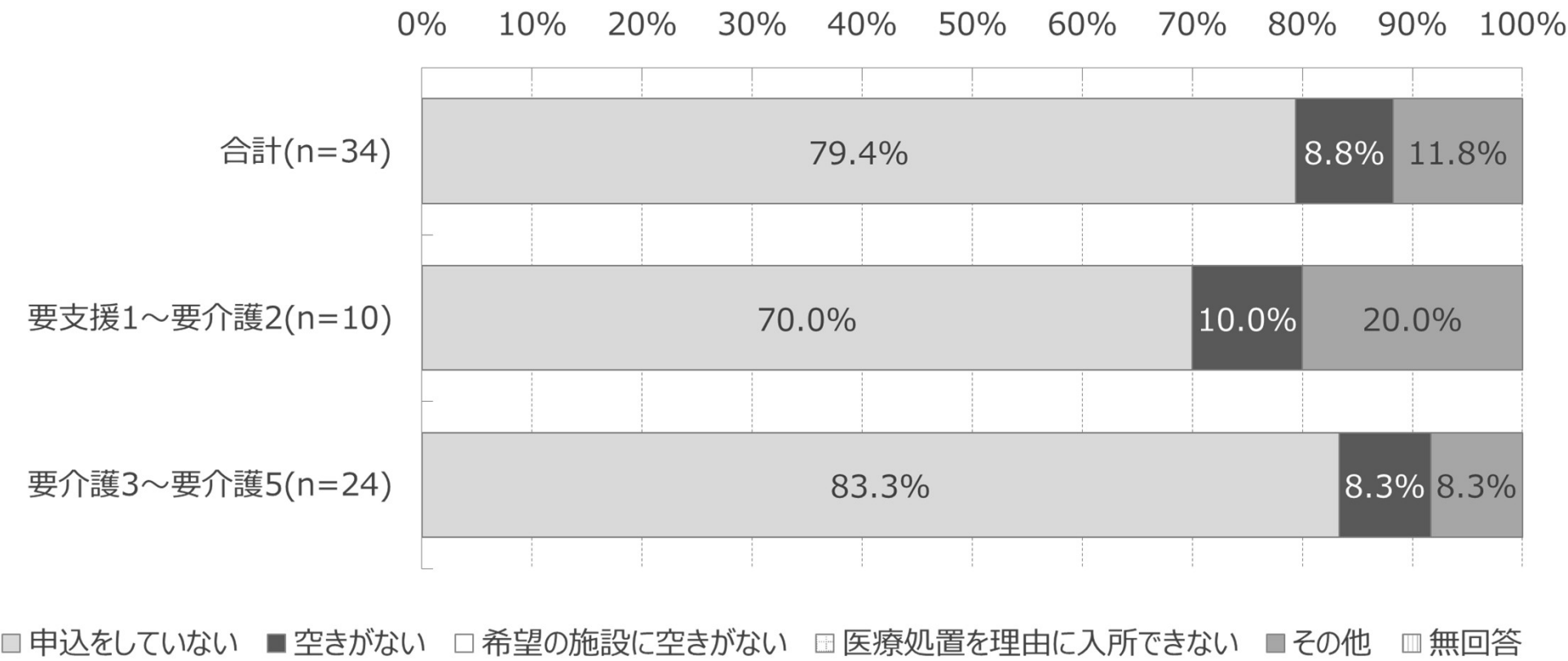
(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人（要介護3以上）」の合計52人のうち、上記の分類が可能な52人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（％）は、52人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

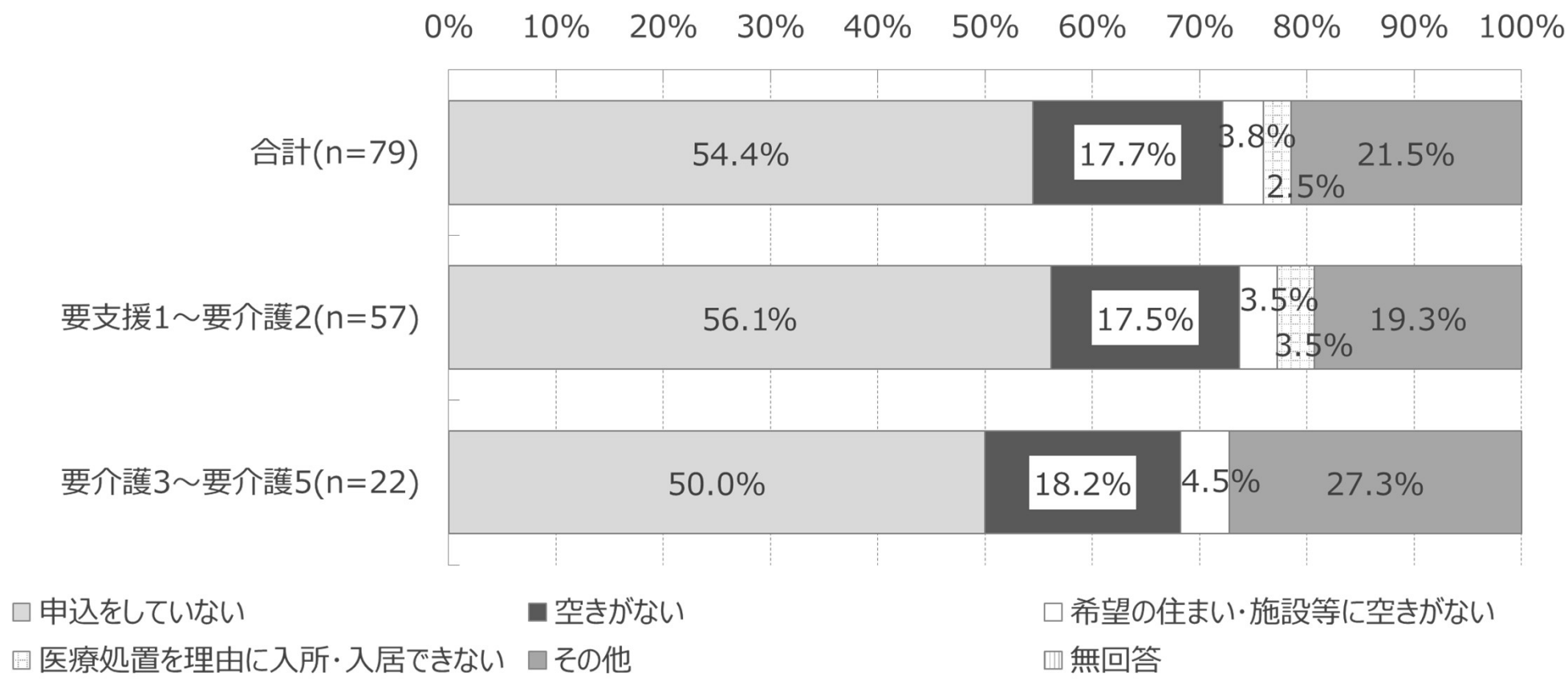
(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

特養に入所できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由 (改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)



(注) 「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

介護人材実態調査 集計結果

2026/06/01

山口県防府市

発送事業所数：149件

回収事業所数：68件

回収率：45.6%

【介護人材実態調査】

調査の目的

- ・ 介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握します。

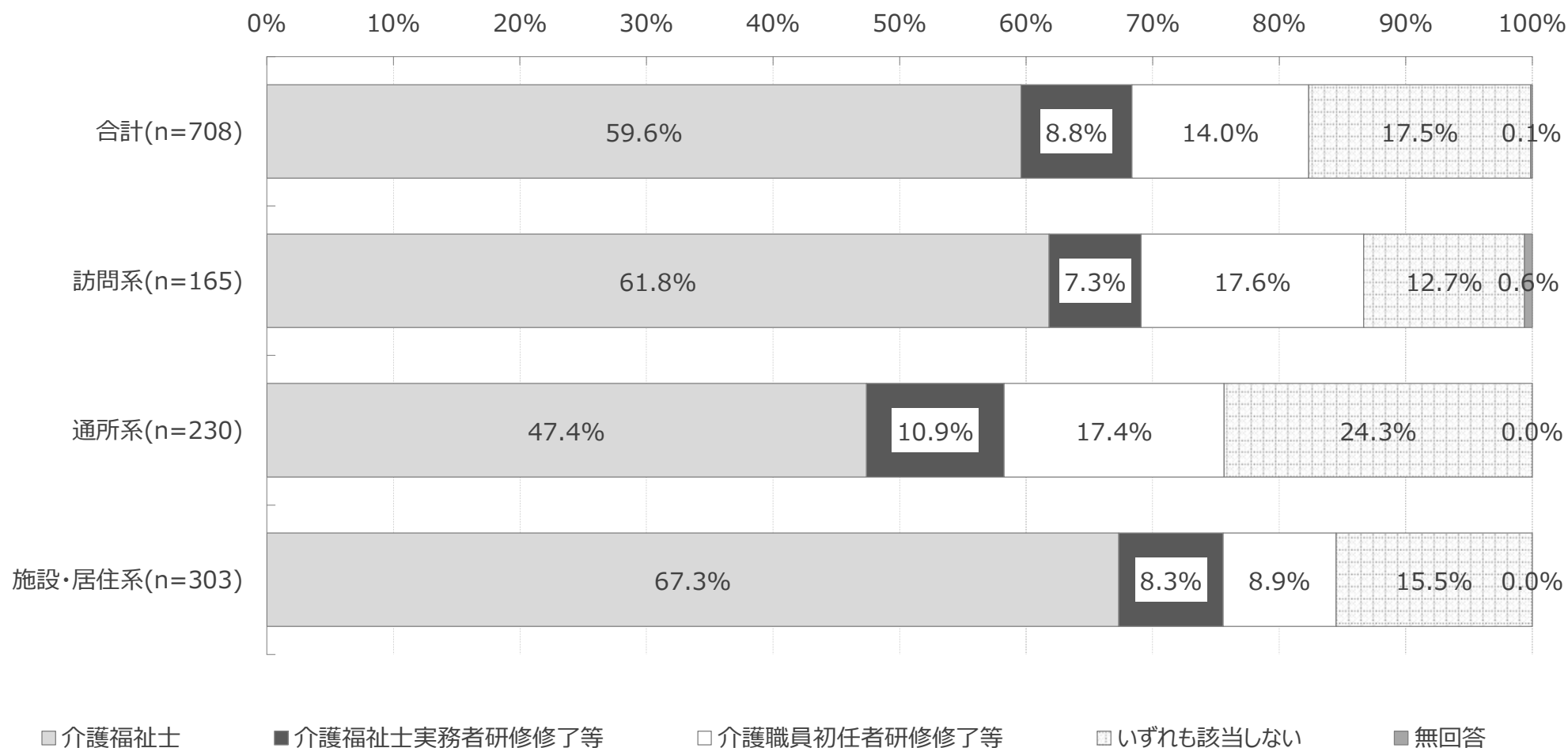
調査の概要

- ・ アンケートは、事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきます。
- ・ 調査では、各事業所等に所属する介護職員の数や、採用・離職の状況に加え、各介護職員の属性を個別にご回答いただくことで、多様なクロス集計を可能にしています。
- ・ また、訪問介護事業所については、別途に職員が回答する「職員票」を用意しています。これは、特に訪問介護について、個々の職員の身体介護・生活援助の提供状況を把握することで、サービス提供に見直しの余地がないか検討することを想定しています。
(例えば、買い物や調理・配膳などの提供を、地域のボランティア等が担うことはできないか検討するなど)

注目すべきポイント

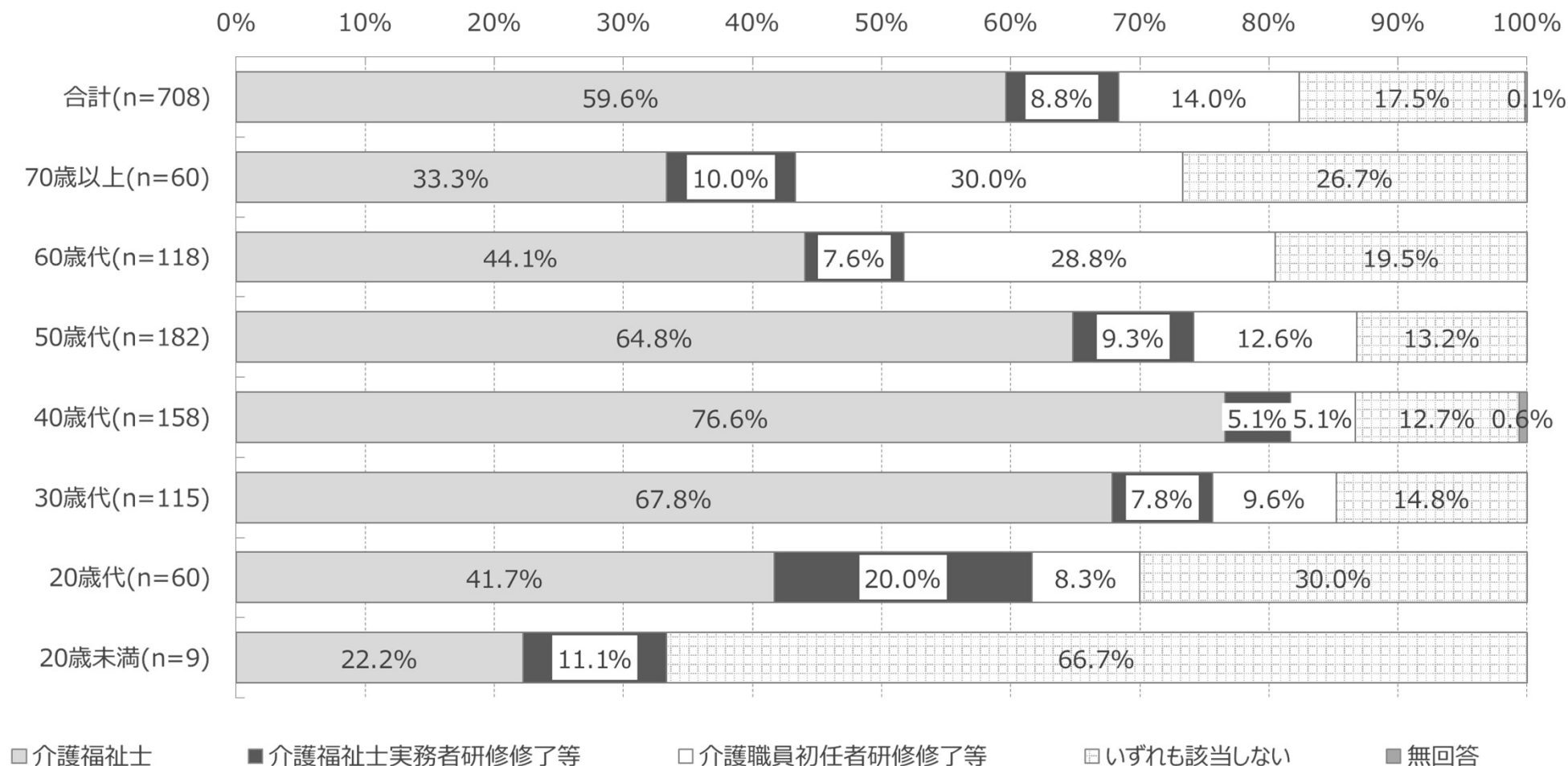
- ・ サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・ 過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・ 訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

サービス系統別の資格保有の状況



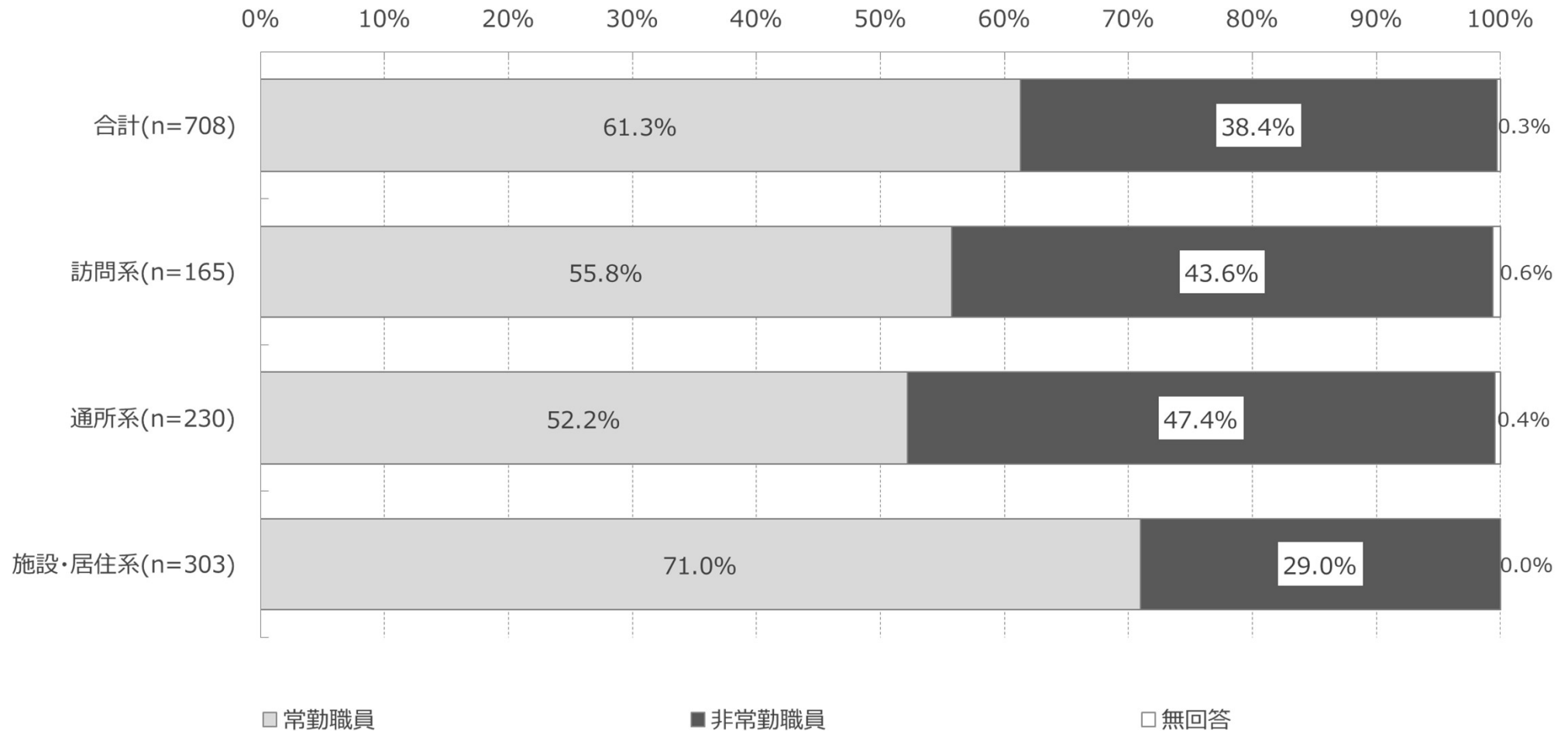
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

年齢別の資格保有の状況



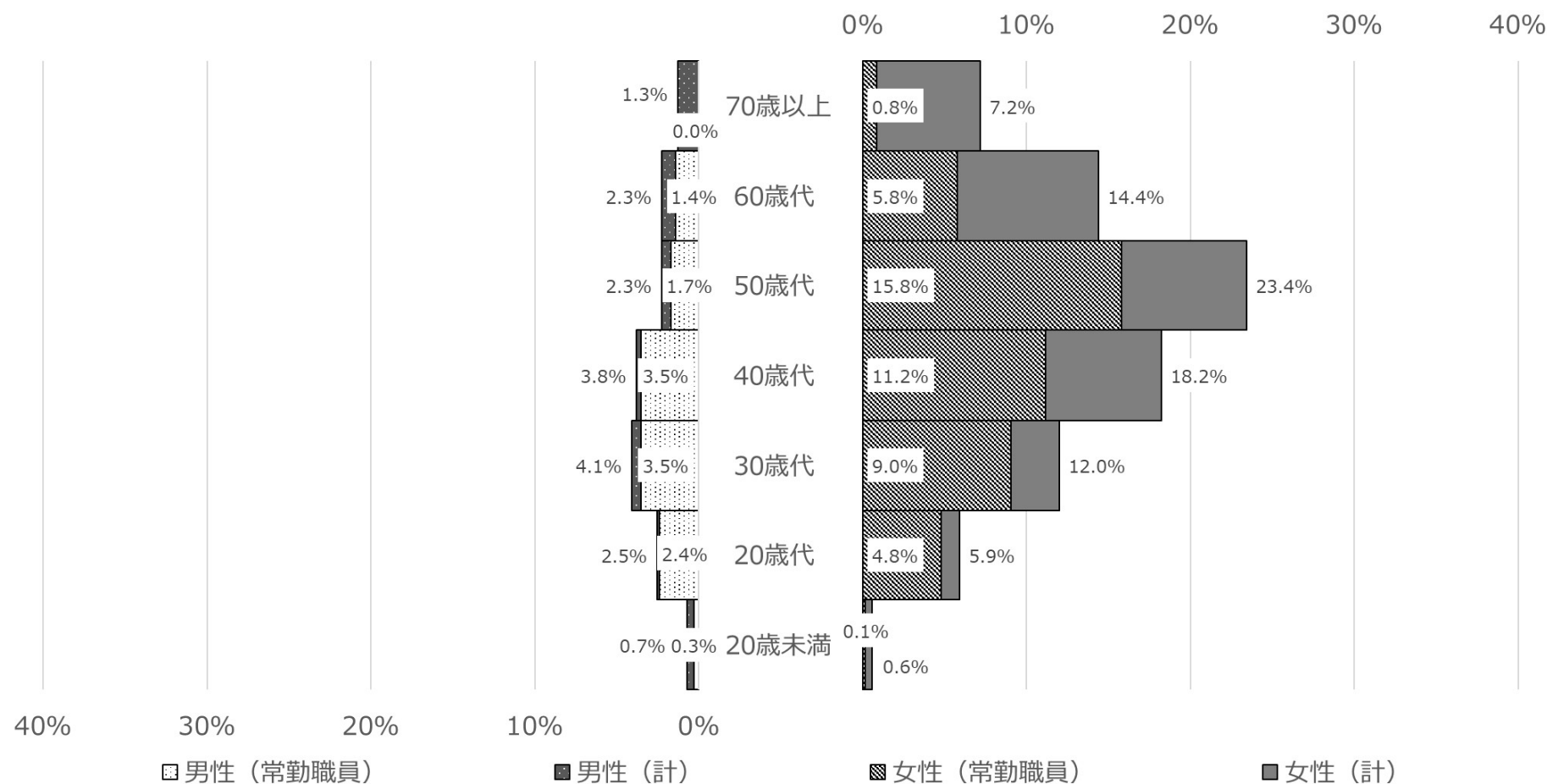
(注)「合計」には年齢不詳の方を含めています。

サービス系統別の常勤職員・非常勤職員の割合



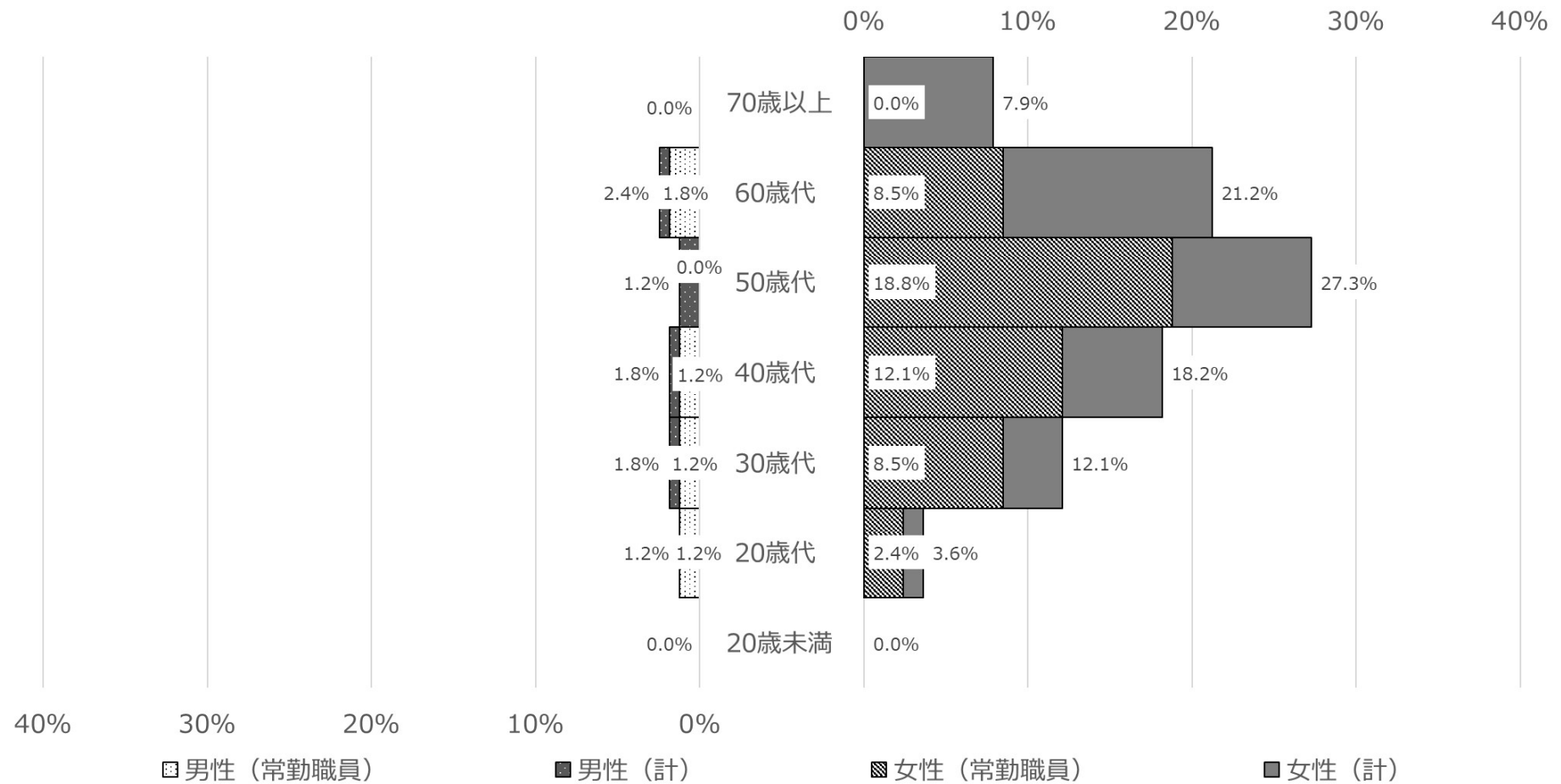
(注) 「合計」にはサービス系統不詳の方を含めています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（全サービス系統合計、n=708）



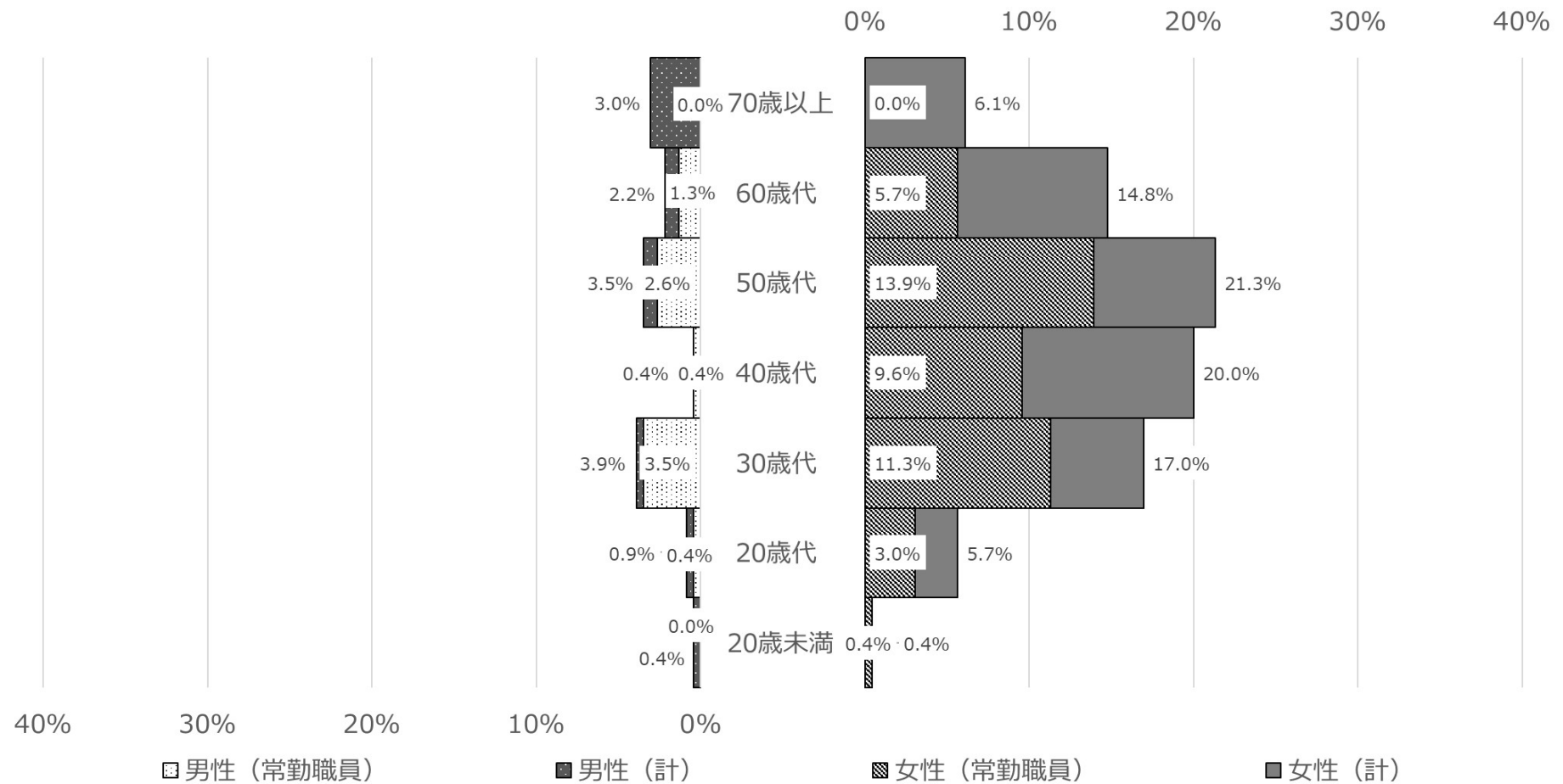
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（訪問系、n=165）



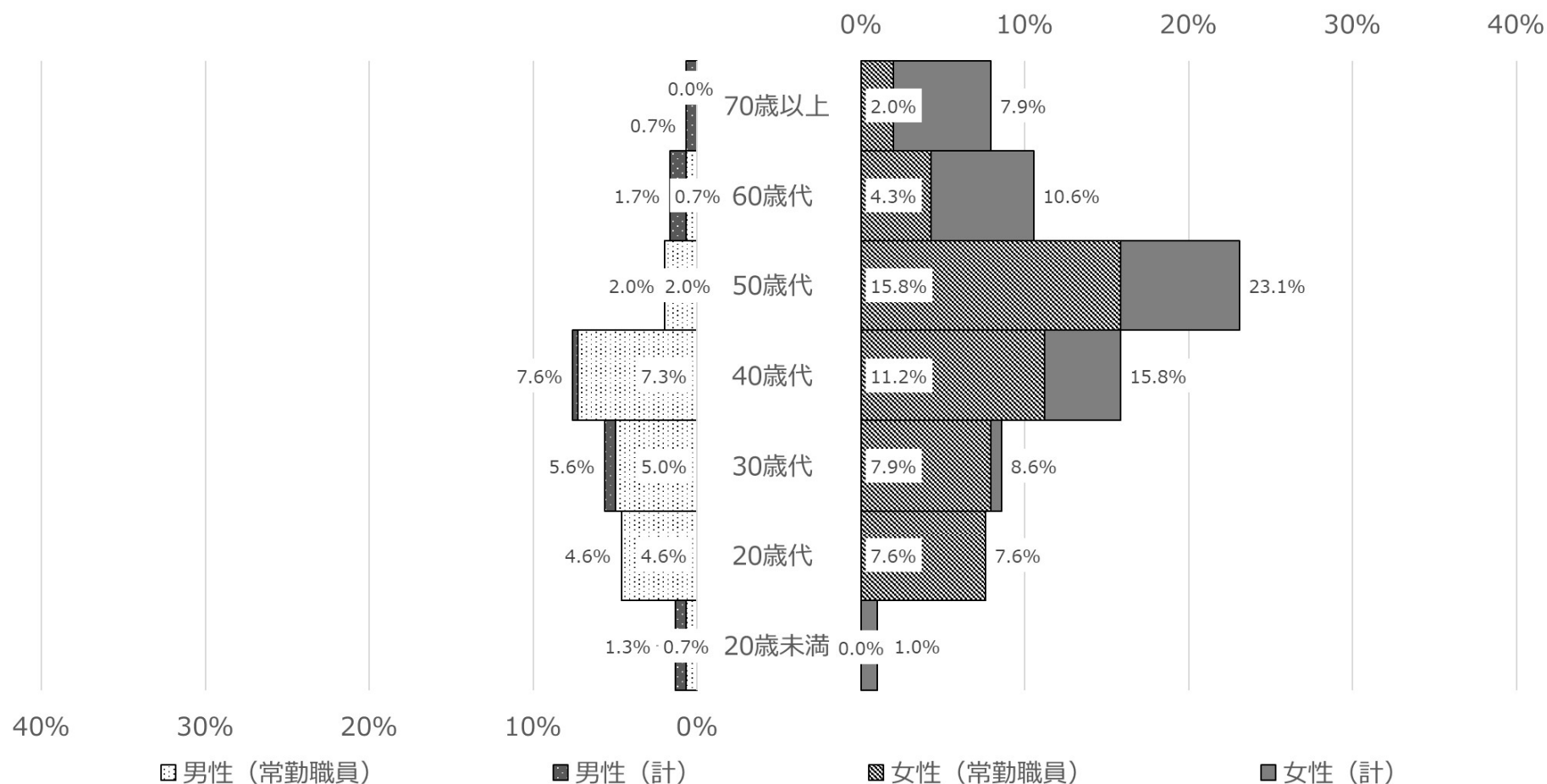
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（通所系、n=230）



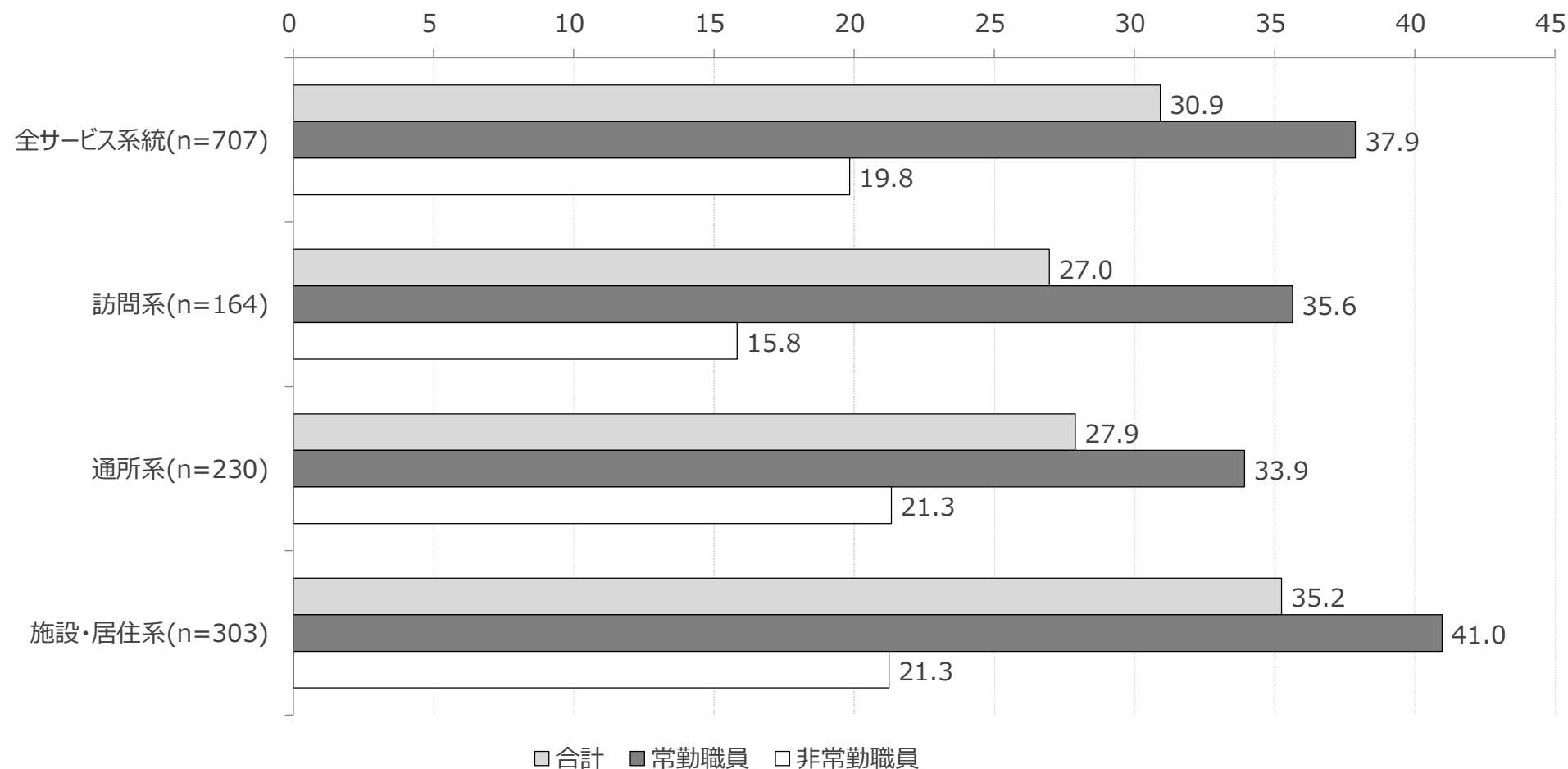
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（施設・居住系、n=303）



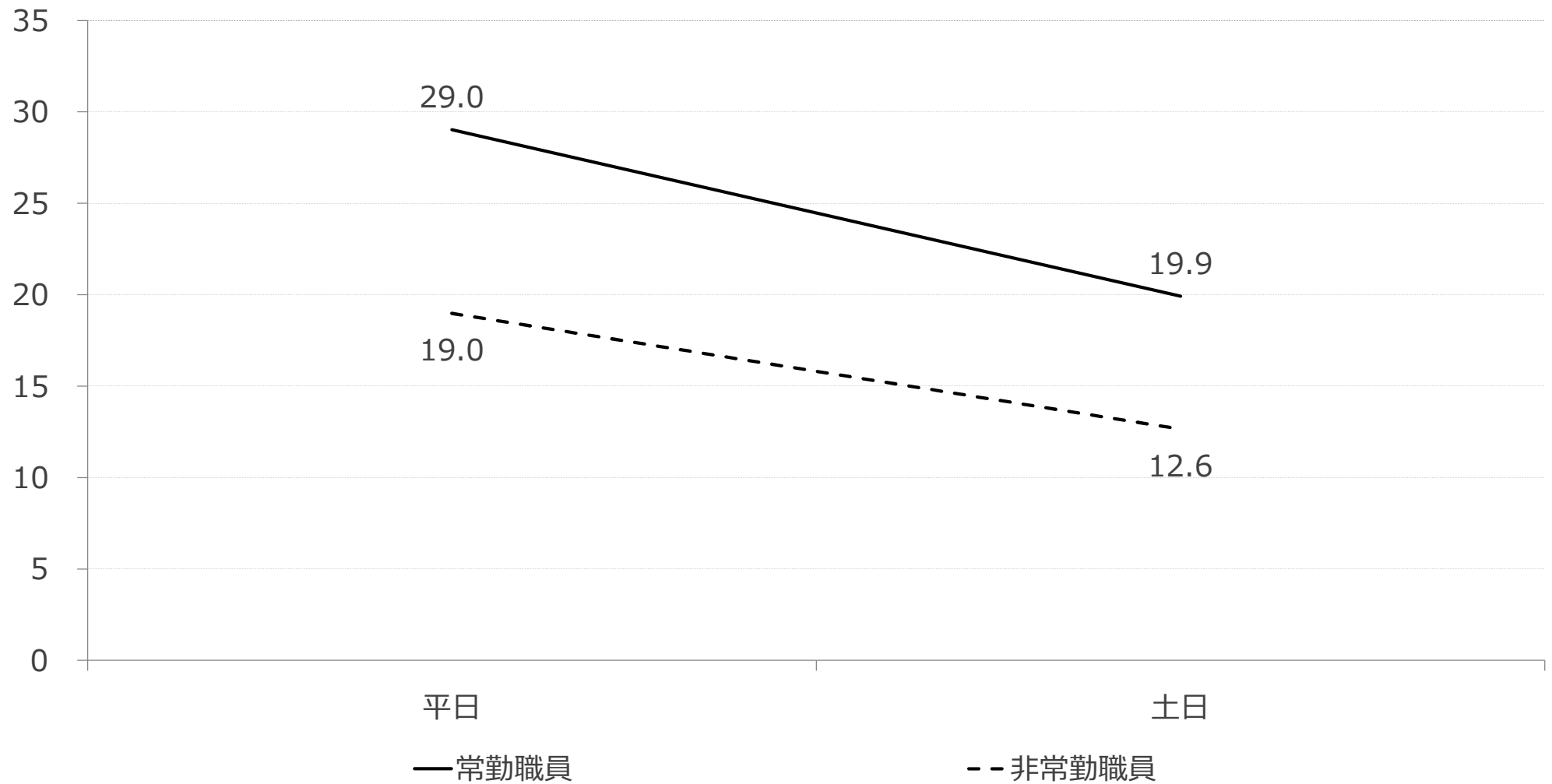
（注）分母には年齢・雇用形態不詳の方を含めて割合を算出しています。

職員1人あたりの1週間の勤務時間（単位：時間）



（注）「合計」には雇用形態不詳の方を含めています。また、「全サービス系統」にはサービス系統不詳の方を含めています。

平日・土日別の職員1人・1日あたり 訪問介護サービス提供時間（身体介護、単位：分）



平日

土日

— 常勤職員

-- 非常勤職員

介護職員数の変化

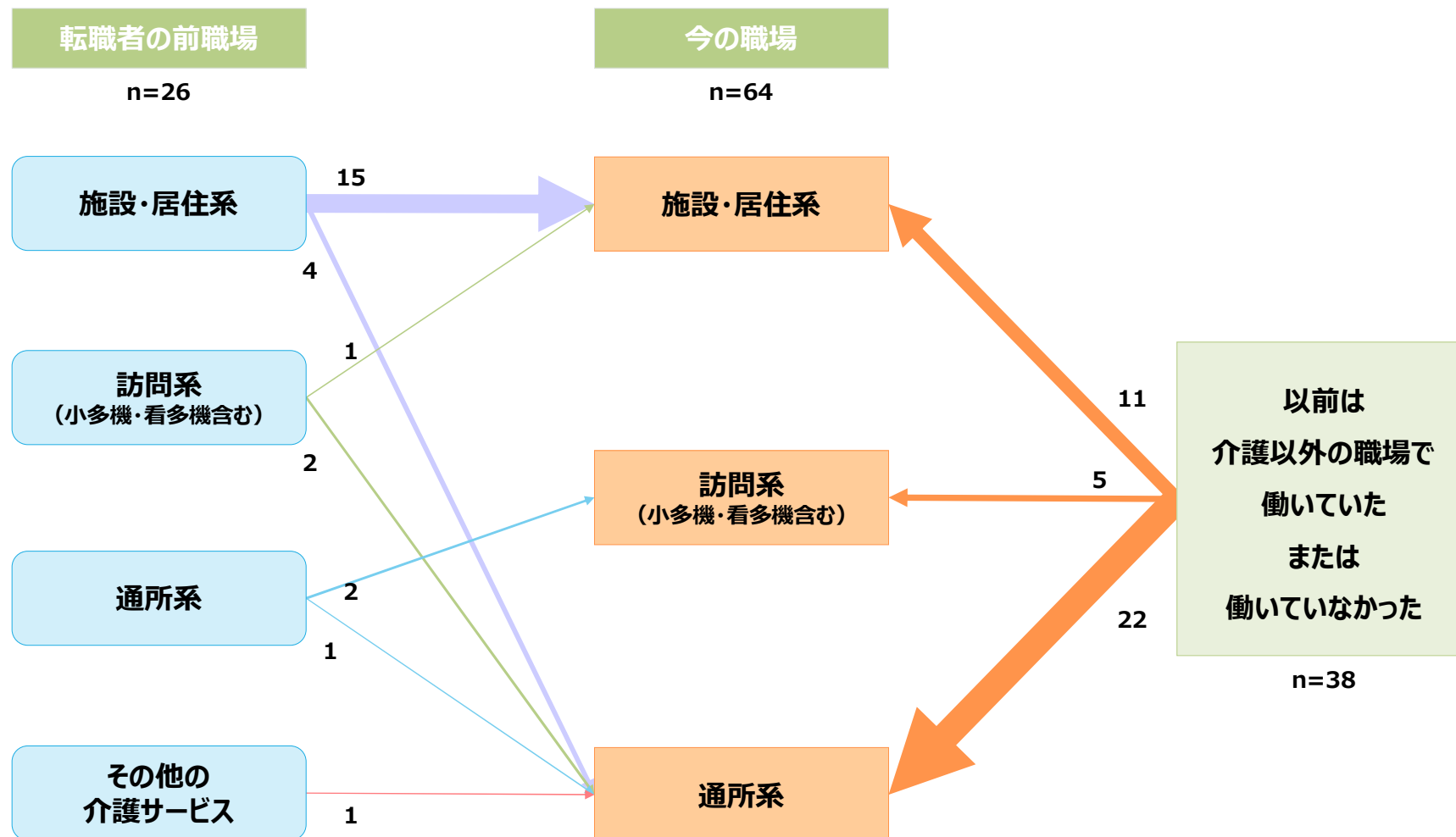
サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計	常勤職員	非常勤職員	小計
全サービス系統(n=68)	498人	339人	837人	63人	65人	128人	65人	53人	118人	99.6%	103.7%	101.2%
訪問系(n=22)	147人	133人	280人	19人	26人	45人	20人	16人	36人	99.3%	108.1%	103.3%
通所系(n=24)	126人	113人	239人	23人	27人	50人	19人	24人	43人	103.3%	102.7%	103.0%
施設・居住系(n=21)	225人	93人	318人	21人	12人	33人	26人	13人	39人	97.8%	98.9%	98.1%

前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	46人	100.0%	14人	100.0%	13人	100.0%	19人	100.0%
同一市区町村	35人	76.1%	12人	85.7%	12人	92.3%	11人	57.9%
他の市区町村	11人	23.9%	2人	14.3%	1人	7.7%	8人	42.1%

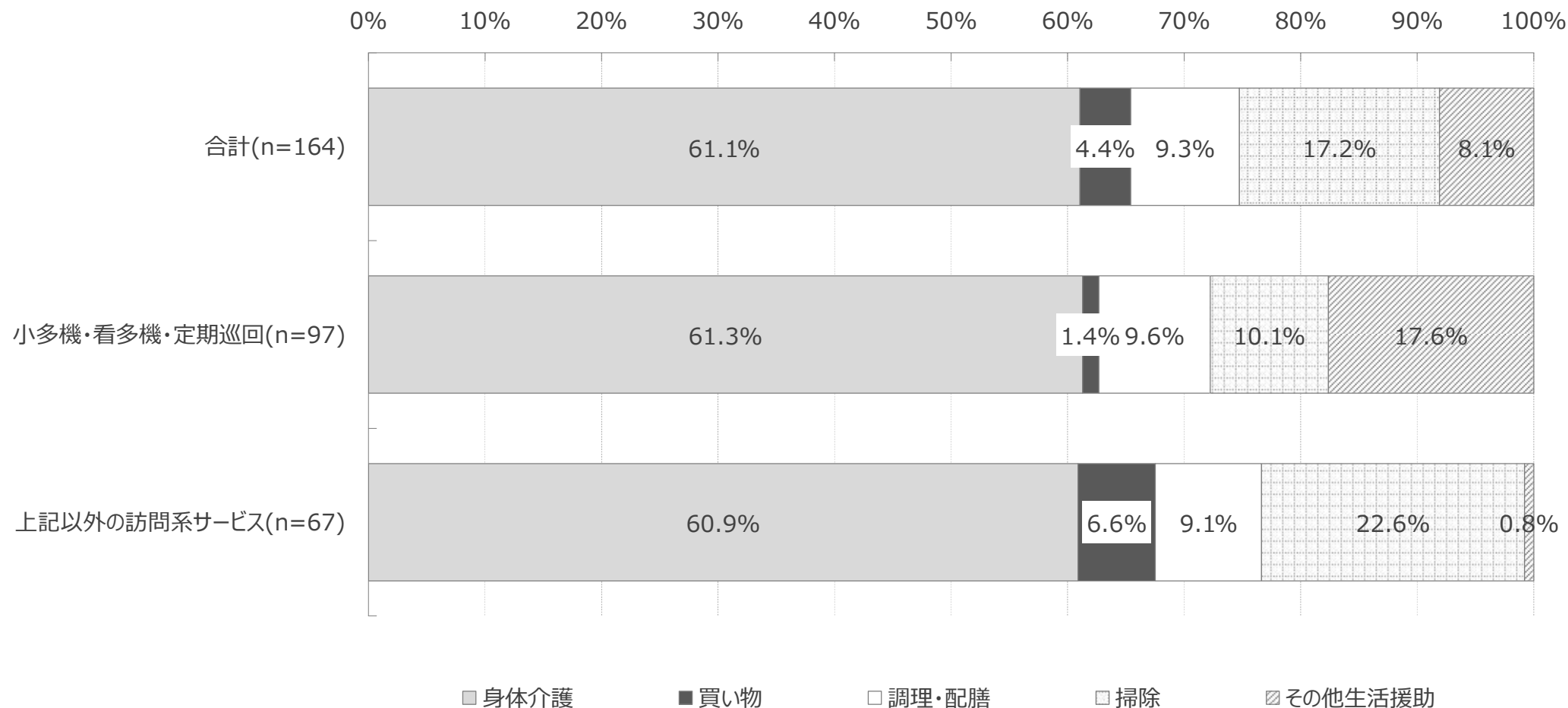
(注) 上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)



(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

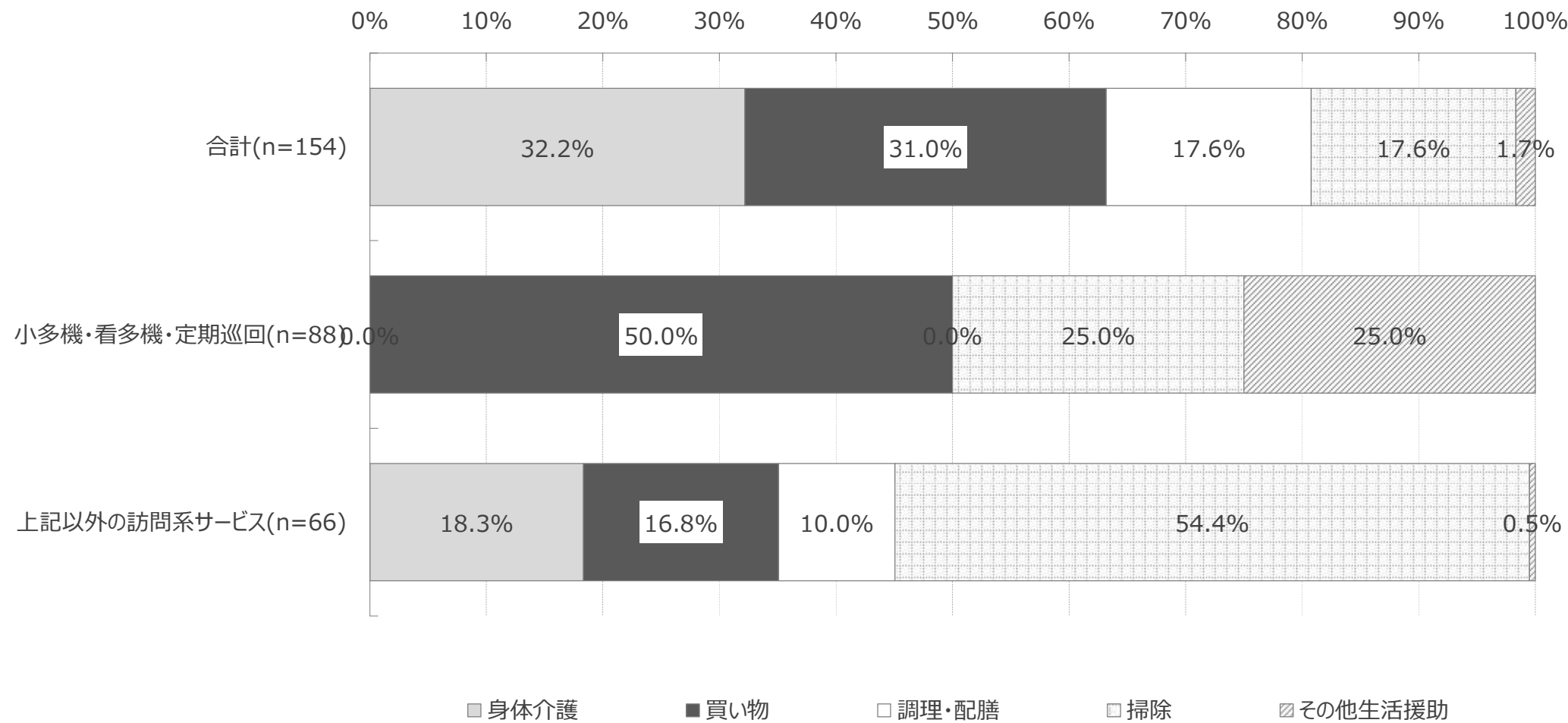
訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

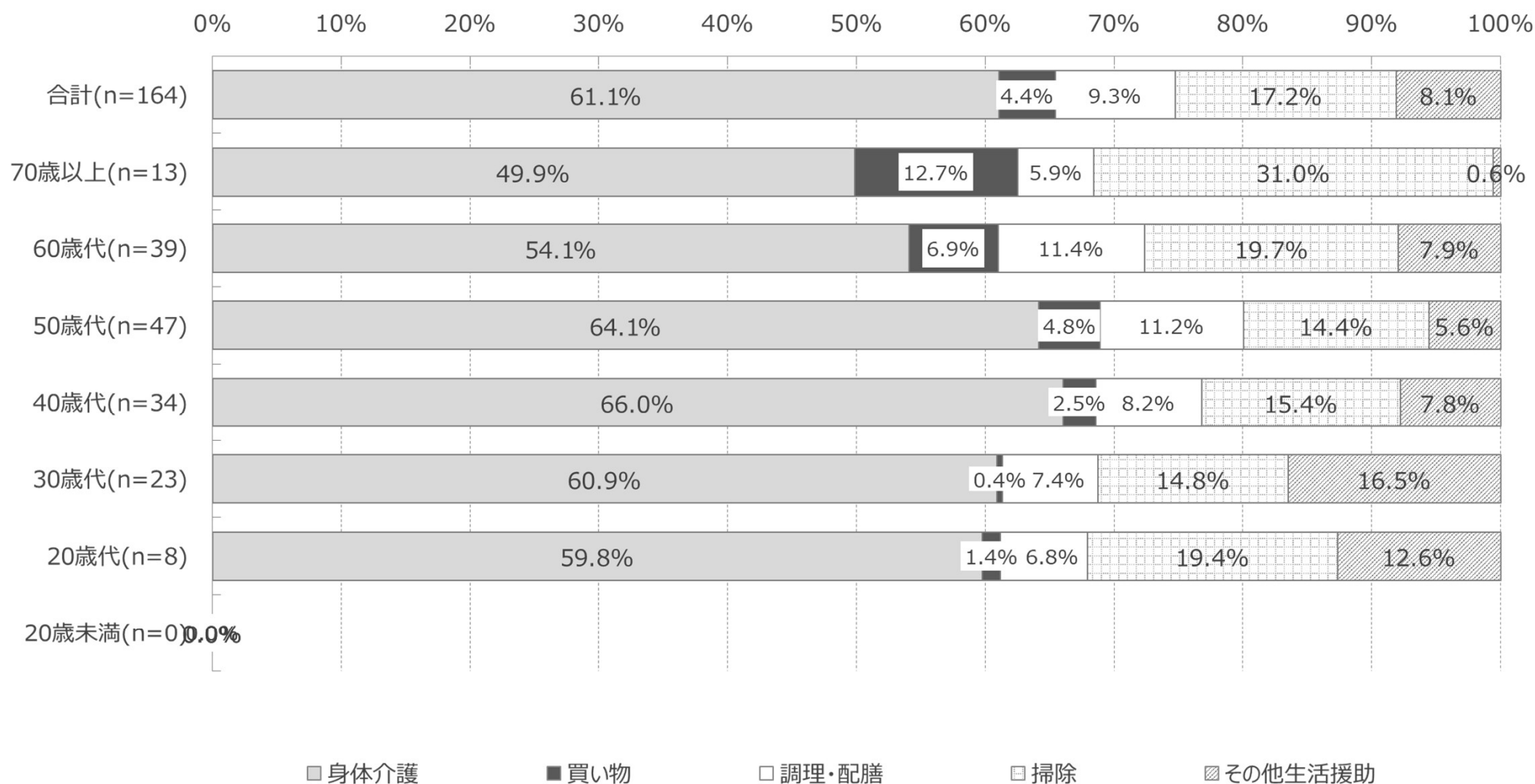
(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。
(注2) 「合計」にはサービス種別不詳の方を含めています。

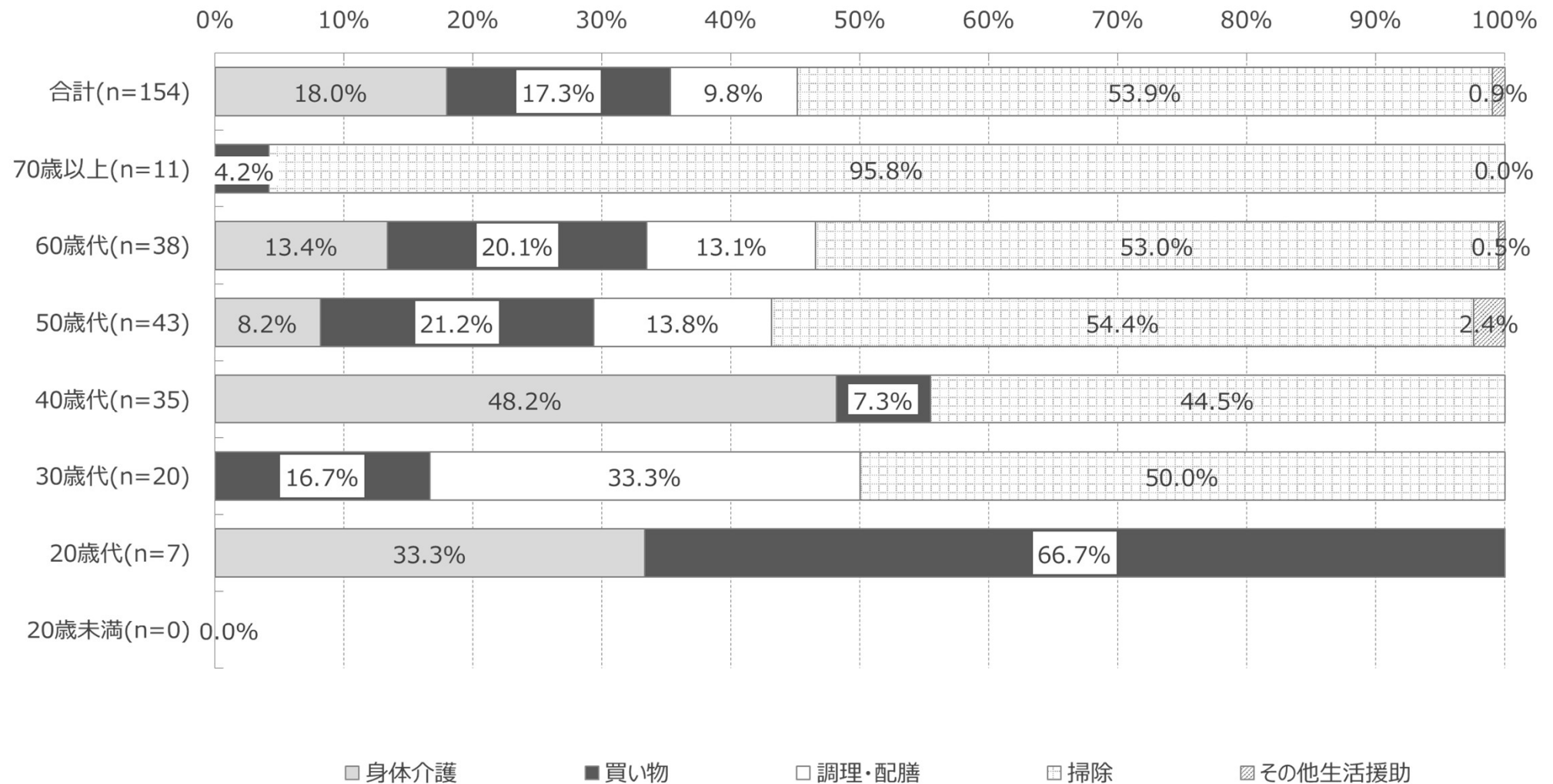
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

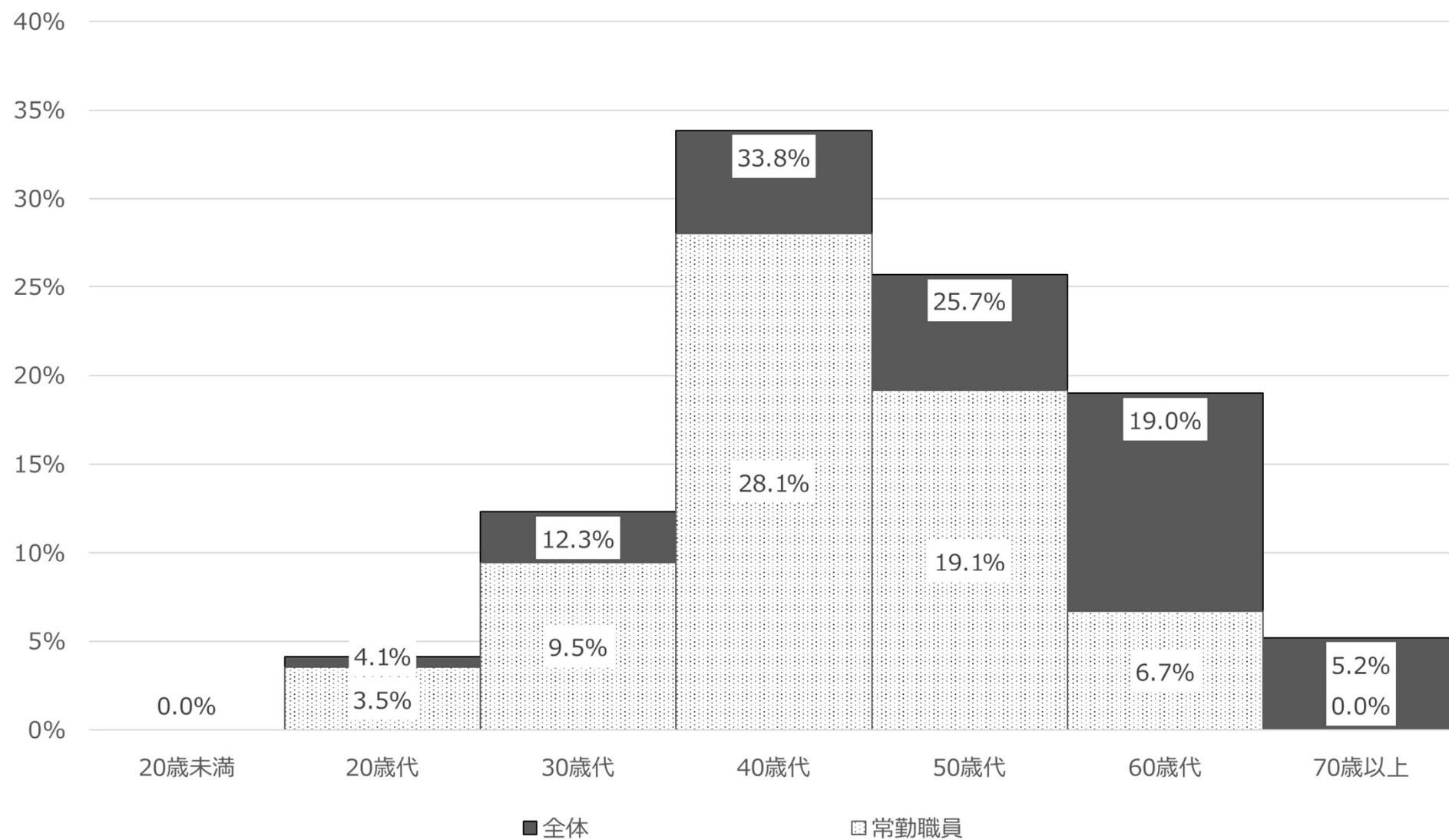
訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



(注1) 総提供時間に占める各サービス提供時間の構成比を示しています。

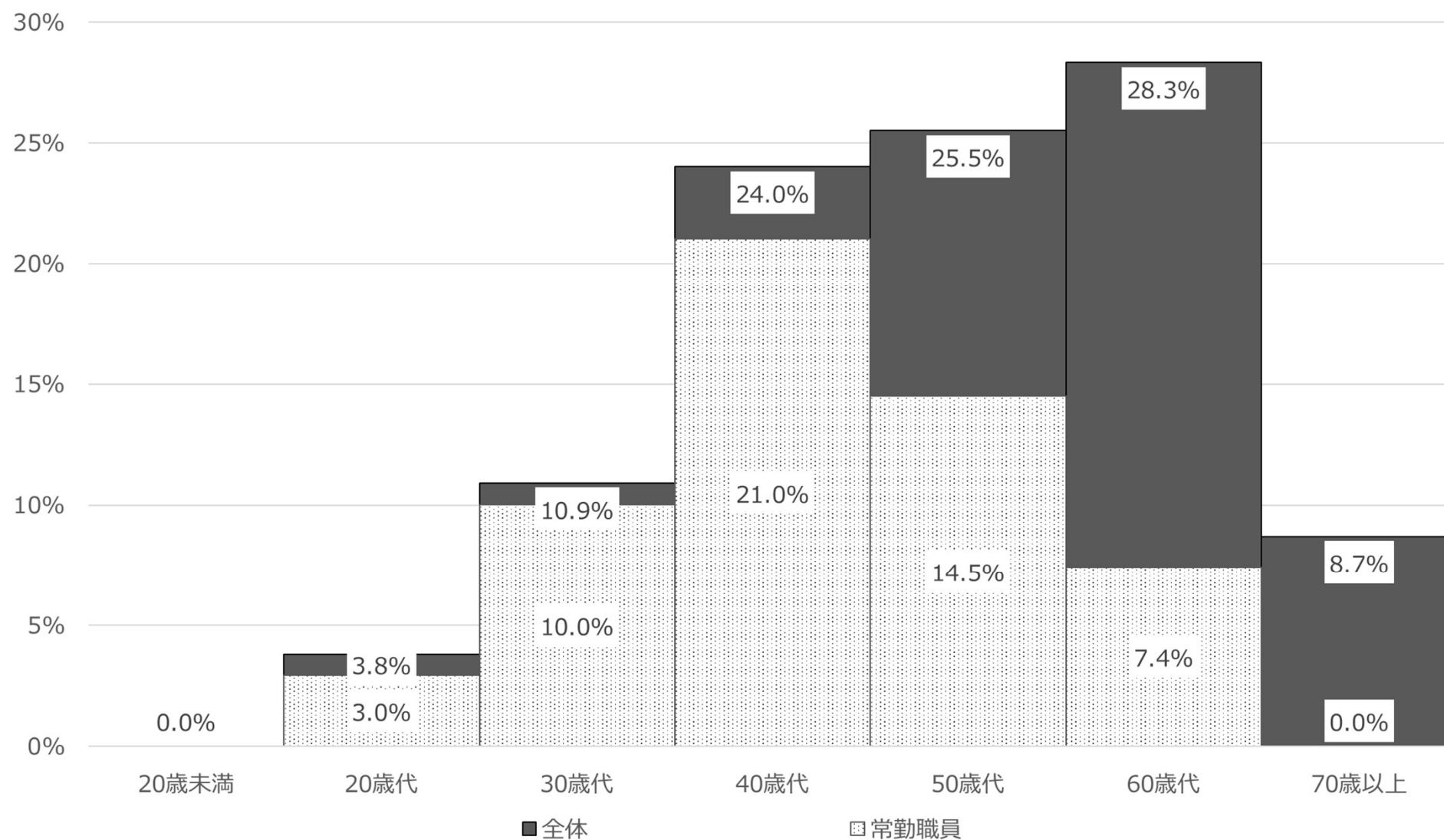
(注2) 「合計」には年齢不詳の方を含めています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）



（注）全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。

職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



（注）全回答者の総提供時間に占める年齢階級ごとの提供時間の構成比を示しています。